

# 四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート

## 【平成31年度（上・下半期）】

1	連携分野	・・・・・・・・・・	P. 1
2	農業分野	・・・・・・・・・・	P.15
3	林業分野	・・・・・・・・・・	P.23
4	水産業分野	・・・・・・・・・・	P.29
5	商工業分野	・・・・・・・・・・	P.32
6	観光分野	・・・・・・・・・・	P.36

令和2年度「産業振興計画」関連予算額

農業分野	800,952千円
林業分野	227,779千円
水産業分野	7,068千円
商工業分野	1,535,754千円
観光分野	115,954千円
<b>計</b>	<b>2,687,507千円</b>
<b>総額 26.9 億円</b>	
産業振興推進総合 支援事業費補助金	6,000千円

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主要内容	平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算(取り組み)概要
連携分野					
1 地産地消の促進					
1. 地域産品の利用と販売促進					
【連携AP1】					
(1) 地域産品の利用と販売促進					
<p>★地元消費拡大フェアの開催 《農業12、林業20、水産13、商工4》</p> <p>◎地元農畜産物の公共施設での利用促進 《農業12・16》</p> <p>★地元農畜産物の利用促進に向けた連携ネットワーク形成 《農業12》</p> <p>◎有機農産物の流通促進 《農業16》</p>	<p>○農産物ブランド化事業(しまんと農法米、40010日プロジェクト) (実施主体:高知県農業協同組合) <b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b> 6月 農産物ブランド化事業補助金交付決定(補助金額260千円) 事業内容:販促活動旅費、販促用資材製作費 試験栽培用肥料購入費</p> <p>8月 販促用資材製作 8月、10月 販促キャンペーン(東京:まるごと高知) 2月 商談会参加(大阪:お米マッチングフェア) 通年 ふるさと納税返礼品登録</p> <p>○しまんと農法米の推進(40010日プロジェクト) 8月、10月、2月 しまんと農法米の販促支援</p> <p>○四万十うまいもの商店街(来客者3,000人) 12月 第8回西土佐産業祭と同時開催</p> <p>○地域商社「株西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連) ・旬の産品フェアを毎月開催 4月 苺一会まつり 5月 新たままつり 6月 天然鮎まつり 7月 夏のりきりまつり 8月 ナスフェス、夏に感謝祭 9月 栗まつり 10月 新米まつり 11月 ゆずまつり 12月 冬の感謝祭 1月 新春新酒まつり 2月 しいたけまつり 3月 いちごまつり(予定)</p> <p>・産地化促進講習会 9月 はじめてのワイン講座 12月 食品表示講習会</p> <p>○西土佐地域地産地消推進協議会 5月 協議会 7月 スクールミールにしとさ給食試食会 7月 安心係養成講座参加 12月 食品表示講習会(再掲) 2月 協議会(予定) 3月 果樹剪定講習会(予定)</p> <p>○西土佐地域産業振興推進協議会 ・西土佐地域の素材を活かした地域活性化を協議 (西土佐ふるさと市、ホテル星羅四万十、カヌー館、四万十牛本舗 西土佐商工会、サコダデザイン、高知県、四万十市) 4月~3月 協議会15回開催</p> <p>【活動実績】</p> <p>・小規模事業者持続化補助金を活用し、四万十牛を活用した地域活性化の取組を実施。四万十牛フィギュア、ポスター(チラシ)、のぼり、フラフ等を作成し、各組織や関係機関に設置。</p> <p>・9月~11月に地域活性化についてのワークショップ開催(3回) 西土佐地域の魅力、西土佐地域に人を呼び込む素材を発見。</p> <p>・12月に四万十牛及び西土佐地域の魅力のPR行脚を実施 岡山、松山の旅行業者や銀行等8箇所を訪問。</p> <p>・ワークショップでの意見を元に、西土佐地域を巡るモニターツアーを企画立案。四万十市観光協会の助成を活用。幡多広域観光協議会に協力してもらい現在ツアー参加者を募集中(定員15名) 名称:来た人が「いちばん・おいしい」しまんとにしとさ半径3kmの旅</p>	<p>四万十市 (農林水産課・観光商工課・産業建設課) 関係団体・組織 事業者 生産者</p>	<p>◆地域産品への関心と利用意識が高まっている</p> <p>◆産業祭来場者数 H25:2,000人 → H31:20,000人</p> <p>H27:12,500人 H28:- H29:1,500人 H30:20,000人 H31:3,000人</p> <p>◆学校給食への市内農産物(野菜類)の供給率 H26:64.8% → H31:50% H27:62.6% H28:43.3% H29:35.2% H30:39.1%</p>		<p>【農業分野】</p> <p>○農産物ブランド化事業(しまんと農法米普及促進) 農 144千円 ・東京での商談会等への参加</p> <p>○環境にやさしい農業のための研究会 - ・学校給食に農産物供給、物産展等へ出展PR</p> <p>○西土佐地域地産地消推進協議会の開催 - ・公共施設への食材提供、生産者への栽培講習等について協議し、年間計画を策定</p> <p>【商工業分野】</p> <p>○道の駅よって西土佐で旬の産品フェアを毎月開催 -</p> <p>○西土佐地域産業振興推進協議会 - ・西土佐地域の素材を活かした地域活性化を協議</p>

※主要内容:★は新規、◎は拡充、○は継続

分野		平成31年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
連携テーマ						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
連携分野						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境にやさしい農業のための研究会 4月～ 学校給食に農産物供給 5月 公家行列(物産市)へ出店しPR 11月 枚方まつりへ出店しPR</li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共建築物の木造化・木質化の促進《林業18》</li> <li>◎木造住宅建築への支援《林業19》</li> <li>★木材流通ネットワークの構築とコーディネート組織の設立《林業17、林業19》</li> <li>◎木造化、木質化への情報発信、普及・啓発の強化《林業20》</li> <li>◎林地残材等の搬出の促進《林業21》</li> <li>◎木質バイオマスボイラー等の普及促進《林業22》</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市産材利用促進事業 申請件数：41件（1月末現在） 年間見込41件程度</li> <li>○幡多流域林業活性化センター 7月 通常総会ほか ・会員：26団体(素材生産・加工・流通事業者、建築団体、関係行政機関) ・林業生産性の向上、林業技術者の確保・育成、製材・加工・流通事業者、利用者（建築等）間の連携促進 ・各素材生産者の目標値設定（幡多地域の原木生産量把握） ・架線（センイロープ）集材研修</li> <li>○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施 宿泊者 53組 延べ263名宿泊（12月末現在） 見学者 238名</li> <li>○フェア等への参加 10月 高知もくもくエコランド2019森林環境学習フェア （主催：高知県、もくもくエコランド実行委員会） （出店：四万十ヒノキブランド化推進協議会） 四万十ヒノキのPR 「幡多山もりフェス2019」 （主催：幡多山もりフェス実行委員会） （出店：榊かわらっこ）</li> <li>○林地残材の搬出促進 バイオマス証明書発行4件（うち公共事業関係1件） 1月末：99.54㎡</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市産材利用促進事業の着工件数 → H31:30戸/年 H27:34戸/年 H28:30戸/年 H29:23戸/年 H30:22戸/年 H31:41戸/年</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>【林業分野】</li> <li>○四万十ヒノキブランド化推進協議会負担金 林 200千円 ・高知県木造住宅フェアへ出展PR 予定</li> <li>○幡多流域林業活性化センター負担金 林 85千円 ・林業生産性の向上、林業技術者の確保・育成、製材・加工・流通事業者、利用者（建築等）間の連携促進</li> <li>○市産材利用促進事業（補助金） 林 30,000千円 ・年間利用件数見込み：30件</li> <li>○宿泊体験型モデルハウス管理費 林 319千円 ・「四万十ヒノキの家」での見学、宿泊体験の実施</li> <li>○フェア等の開催 — ・「幡多山もりフェス2020」開催予定</li> <li>○個人の皆伐を経営計画に組み込み林地残材の有効利用を促進 —</li> <li>○林地残材の搬出促進 — ・バイオマス証明書発行</li> </ul>	
◎漁協の販売機能の強化《水産12》	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地産外商活動 （実施主体：四万十川西部漁業協同組合（あゆ市場）） ・天然鮎の高付加価値化 活鮎の豊洲市場出荷（6月） ・イベント出店等 4月 高知蔦屋書店（高知市） 5月 道の駅世羅4周年（広島） 9月 北の恵み食べマルシェ2019(旭川市) 10月 全国交流物産展 in新橋（東京） 11月 フェスティバル土佐ふるさとまつり(高知市) 枚方市友好都市物産展（大阪） 12月 西土佐産業祭、高知大丸冬の味覚祭（高知市） 1月 土佐のおさかなまつり（高知市） 3月 高知大丸春の味覚祭（予定）（高知市）</li> <li>○地域おこし協力隊の配置 ・あゆ市場拠点に1名配置 4月 ホームページ作成協議 6月 高知県商談会参加 9月 清流めぐり利き鮎会参加 ・商品開発 干物、鮎そぼろ、がね味噌、丸干し</li> </ul>		◆漁業協同組合の販売機能 H31:強化		<ul style="list-style-type: none"> <li>【水産分野】</li> <li>○地域おこし協力隊経費 水 2,198千円 ・あゆ市場拠点 1名配置（4月～10月）</li> <li>【商工業分野】</li> <li>○地産外商促進事業（西土佐地域出店関係） 商 592千円 ・ふるさとまつり、枚方物産展、大丸フェア、ヒールロック</li> </ul>	
【連携AP2】 (2) 地域産品の販売拠点づくり						
★地産地消認証店制度《農業12、水産13、商工4・6》	<ul style="list-style-type: none"> <li>○商店街活性化モデル事業（900千円） （実施主体：中村商工会議所） 5月 公家行列及び地域産品の販売PRを支援</li> </ul>	四万十市 （農林水産課・観光商工課・産業建設課）	◆市内の様々な販売拠点において、地域産品の利用、販売が促進されている。		<ul style="list-style-type: none"> <li>【商工業分野】</li> <li>○商店街活性化モデル事業 商 900千円 （実施主体：中村商工会議所）</li> </ul>	

分野		平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算(取り組み)概要
連携テーマ						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
連携分野						
◎市内量販店等を拠点とした販路拡大 《農業12》	◎旧土豫銀行跡地開発事業 (49,667千円)	関係団体・組織 事業者 生産者	◆商店街通行者数(平日) H22~H26平均 4,725人/日 → H31:4,845人/日 H27:4,591人/日 H28:4,676人/日 H29:5,878人/日 H30:6,208人/日 H31:5,607人/日		<ul style="list-style-type: none"> <li>公家行列及び地域産品の販売PRを支援</li> <li>○中心市街地にぎわい拠点施設維持管理事業 商 2,535千円 公共部分(公園・トイレ)に係る維持管理費を補助</li> <li>○地域おこし協力隊経費(中心市街地活性化1名) 商 3,152千円</li> <li>○地域おこし協力隊経費(まちなか景観形成1名) 商 3,934千円</li> </ul>	
★土豫銀行跡地活用による拠点整備 《商工10》	・四万十市中心商店街活性化協議会を設立し、拠点施設を活用した中心市街地の活性化策について検討					
◎物産館サンリパー四万十との連携 《商工10》	5月 四万十市中心商店街活性化計画の策定 5月・11月 四万十市中心商店街活性化協議会の開催 7月・2月 身内で商店街ツアー実施(7月:5店舗17名参加) 毎月1回 拠点施設を核とした商店街活性化の協議(6月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月) 専門家派遣:4回(8月、10月、12月、2月) 12月 施設名称決定:「Shimanto+Terrace はれのば」(しまんとてらすはれのば)プレオープン3月23日					
◎いちじょこさん市場(食の交流拠点)の機能強化 《商工10》	◎まちづくり四万十株主総会					
★東下町会館の改築による拠点機能の強化 《商工10》	7月 いちじょこさん市場の今後の事業展開等について検討					
◎直販所の拠点機能の強化 《農業13、商工18》	◎農林水産物直販所「安心係」養成講習会		◆農林水産物等直販所販売額		【農業分野】	
★道の駅「よって西土佐」の整備・機能強化 《農業13、商工10・18》	7月 養成講習会へ参加 情報発信、農産物管理、農業適正使用、表示、衛生管理講習		H25:11億5,600万円 → H31:13億円		○農林水産物直販所「安心係」養成講習会への参加 ・情報発信、農産物管理、農業適正使用、食品表示、衛生管理講習	
◎拠点ビジネスの推進 《商工18》	1月 食品表示講習会		H26:11億8,900万円 H27:12億3,600万円 H28:13億0,800万円 H29:13億1,200万円		【商工業分野】	
	【再掲】		◆道の駅「よって西土佐」入込客数		○道の駅地産地消・地産外商推進事業 商 881千円 (実施主体:榊西土佐ふるさと市) ・外販、PR活動、商品開発、講習会等(市産振補助予定)	
	◎地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連)		H31:13.0万人 H28:21.4万人 H29:18.9万人 H30:18.6万人		○集落活動センター事業 (実施主体:大宮集落活動センター)	
	・旬の産品フェアを毎月開催					
	4月 苺一会まつり 5月 新たまつり					
	6月 天然鮎まつり 7月 夏のりきりまつり					
	8月 ナスフェス、夏に感謝祭 9月 栗まつり					
	10月 新米まつり 11月 ゆずまつり					
	12月 冬の感謝祭 1月 新春新酒まつり					
	2月 しいたけまつり 3月 いちごまつり(予定)					
	・産地化促進講習会					
	9月 はじめてのワイン講座					
	12月 食品表示講習会					
	◎集落活動センター事業					
	(実施主体:大宮集落活動センターみやの里)					
	4月~ 地域資源や特性を活かした産業づくり					
	軽食・配食サービス、視察受入等					
★新文化複合施設を中心とするまちの賑わいづくり 《商工10》	◎文化複合施設整備事業				【商工業分野】	
	・複合施設基本設計				○文化複合施設整備事業 商 682,107千円	
	市民説明会(9月)、市民座談会(11月)、市民公聴会(1月)				・複合施設実施設計(187,990千円)	
	市民ワークショップ(10月2回、11月)				・複合施設整備地質調査(25,542千円)	
	整備検討委員会(7月、10月、11月、2月)				・中央公民館・働く婦人の家解体工事(250,327千円)	
	※7月、11月、2月は、管理運営基本計画についても協議				・中央公民館高圧引込柱撤去工事(347千円)	
	基本設計策定(3月)				・中央公民館跡地舗装工事(2,332千円)	
	・複合施設管理運営基本計画策定				・中央公民館等解体に係る周辺家屋事後調査(9,867千円)	
	市民ワークショップ(6月、9月、11月)				・複合施設整備用地取得、移転補償(188,531千円)	
	パブリックコメント(12~1月)				・複合施設整備地分筆登記(7,175千円)	
	整備検討委員会(7月、10月、11月、2月)				・複合施設管理運営実施計画策定(9,996千円)	
	※7月、11月、2月は、基本設計についても協議					
	管理運営基本計画策定(3月)					

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主な内容	平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算(取り組み)概要	
						連携分野
						連携分野
						連携分野
★新食肉センターを核とした地域産業の振興 《農業14、商工18》	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同整備を行うJAとの連携 複合施設整備研究会(8月)</li> <li>複合施設整備用地・路線測量(4~9月)</li> <li>取得予定地物件補償費算定(4~9月)</li> <li>中央公民館・働く婦人の家解体に係る周辺家屋事前調査(4~3月)</li> <li>複合施設整備用地不動産鑑定(10~11月)</li> </ul>					
2 地産外商の推進						
1. 商品開発と磨き上げ						
【連携AP3】 (1) 地元農畜産物を使った商品開発						
◎戦略品目のブランド化 《農業14》 ★40010日プロジェクト 《農業14》 ○地元農畜産物を使った商品の開発 《農業15》 ◎意欲的な生産者への支援 《農業15》	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ぶしゅかん産地化・普及推進事業 地方創生推進交付金を活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>PR活動 9月 ぶしゅかん青玉キャンペーン(東京都台東区:OKATTE)</li> <li>生産者支援(産地化促進) 8~10月 ぶしゅかん集出荷補助(市内集荷量:21t) 10月~ 新規定植(苗代補助)80本 16a 新規定植予定圃場現地確認 有害鳥獣対策用防護柵(設置費補助)</li> </ul> </li> <li>○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体:四万十ぶしゅかん株式会社) 8月~10月 県外飲食店への青果サンプリングキャンペーン</li> <li>○四万十ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体:四万十ぶしゅかん生産者組合) 8月 ぶしゅかん解禁祭(土佐くろしお鉄道)参加者約40名</li> <li>○四万十市西土佐地域米ナス振興推進事業 (実施主体:JA高知県西土佐支所米ナス部会) 11月 米ナスの消費地動向調査(枚方市)</li> <li>○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 (実施主体:株式会社まんと美野里) 9月~ 栗の集出荷、縮間伐、新改植</li> </ul>	四万十市 (農林水産課・観光商工課・産業建設課) JA高知県 事業者 生産者	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆四万十ブランドの確立や加工商品開発による高付加価値化が図られ、安定した農業経営につながっている</li> <li>◆ぶしゅかん新植面積 H26:0.9ha → H31:12ha H27:4.9ha H28:7.7ha H29:9.7ha H30:10.9ha H31:11.7ha</li> <li>◆ぶしゅかん生産量 H26:13t → H31:54t H27:16t H28:22t H29:18t H30:28t H31:21t</li> <li>◆ゆず栽培面積 H26:42.5ha → H31:42.5haを維持 H27:43.4ha H28:44.0ha H29:44.1ha H30:44.0ha</li> </ul>		【農業分野】 ○ぶしゅかん産地化推進事業 農 4,236千円 地方創生推進交付金を活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>新規定植(苗代への補助) 2,000本 400a</li> <li>有害鳥獣対策用防護柵(設置費補助) 1,500m</li> <li>栽培指導等業務委託 生産量増加及び品質向上を目的とし生産者に植栽から収穫、出荷に至るまでの生産指導の業無委託</li> <li>都市圏等でのぶしゅかんブランディングキャンペーンの展開</li> <li>キャンペーン用パンフレット、ポスター作成</li> </ul> ○ぶしゅかん産地化推進計画の策定 - ・目標栽培面積・生産量、青玉の流通(選果体制) ※市・振興センター・生産者組織・加工業者等で協議 ○地理的表示保護制度(GI)登録に向けた調査研究 - ※地域で育まれた農産物の伝統と品質基準を守る証 (国が地域の特産品の「名称」を知的財産として保護) ○四万十ぶしゅかん(株)を主体に各種商談会、展示会、 ・物産展等での販路開拓・販売促進活動を展開 -	

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主な内容	平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算(取り組み)概要
連携分野					
	<p>○栗暮プロジェクト</p> <p><b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西土佐橋地区栗実証農園運営 農業公社へ運営委託</li> <li>水田転換(栗園へ転換) 0.7ha(予定)</li> <li>苗木補助 1,300本(予定)</li> <li>栽培技術講習会 2回(予定)</li> </ul> <p><b>【再掲】</b></p> <p>○農産物ブランド化事業(しまんと農法米、40010日プロジェクト)          (実施主体:高知県農業協同組合)</p> <p><b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b></p> <p>6月 農産物ブランド化事業補助金交付決定(補助金額260千円)          事業内容:販促活動旅費、販促用資材製作費          試験栽培用肥料購入費</p> <p>8月 販促用資材製作          8月、10月 販促キャンペーン(東京:まるごと高知)          2月 商談会参加(大阪:お米マッチングフェア)          通年 ふるさと納税返礼品登録</p> <p><b>【再掲】</b></p> <p>○しまんと農法米の推進(40010日プロジェクト)</p> <p><b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>8月、10月、2月 しまんと農法米の販促支援</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業          (道の駅「よって西土佐」関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商品開発 原木しいたけコロケ 1品目</li> </ul> <p><b>【再掲】</b></p> <p>○地域おこし協力隊の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あゆ市場拠点に1名配置</li> <li>商品開発 干物、鮎そぼろ、がね味噌、丸干し</li> </ul> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業          (実施主体:四万十市食文化磨き上げ研究会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>四万十の食文化の発信</li> <li>市内小中学校の児童生徒へ食の発信冊子の配布</li> </ul>		<p>◆ゆず生産量          H26:445t → H31:445tを維持          H27:310t H28:486t          H29:553t H30:377t</p> <p>◆栗栽培面積          H26:39.5ha → H31:47ha          H27:41.8ha H28:43.9ha          H29:45.8ha H30:48.0ha</p> <p>◆栗生産量          H26:15.1t → H31:60t          H27:22.1t H28:26.1t          H29:29.6t H30:16.1t          H31:19.6t</p> <p>◆しまんと農法米栽培面積          H31:20ha          H27:1.20ha H28:2.77ha          H29:6.15ha H30:10.22ha          H31:15.27ha</p> <p>◆しまんと農法米生産量          H31:88.4t          H27:4.92t H28:11.94t          H29:23.6t H30:33.21t          H31:44.25t</p> <p>◆一次産品等を活かした新商品の開発</p> <p>※農畜産物加工品以外を含む</p> <p>H31:15アイテム          H27:257アイテム H28:177アイテム          H29:207アイテム H30:117アイテム          H31:127アイテム</p>		<p><b>【農業分野】</b></p> <p>○四万十市西土佐地域米ナス振興推進事業 農 690千円          (実施主体:JA高知県西土佐支所米ナス部会)  <b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b>          ・販促資材作成、販路開拓、広告宣伝等</p> <p><b>【再掲】</b></p> <p>○農産物ブランド化事業(しまんと農法米普及促進) <b>【144千円】</b>          ・東京での商談会等への参加</p> <p>○栗暮プロジェクト 農 2,759千円  <b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栗園モデル事業</li> <li>栗園の縮間伐技術指導</li> <li>産地化促進補助(苗木補助)</li> <li>水田転換推進事業(平場新植推進)</li> </ul> <p><b>【商工分野】</b></p> <p>○道の駅よって西土佐での商品開発推進          (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) -</p>
<p>★新食肉センターを核とした地域産業の振興          《農業14、商工18》</p>	<p><b>【再掲】</b></p> <p>○新食肉センター整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新食肉センター整備検討委員会1回 3月(予定)</li> <li>関係業者担当者会議 4、9、12、1、3月(5回)</li> <li>庁内検討会議、政策会議 9、12、1、2月(4回)</li> <li>先進地視察 鹿児島・大分(6月)、新潟(3月予定)</li> <li>視察報告会 7月</li> <li>と畜料金等について業者ヒアリング 11月</li> <li>用地測量業務              (委託期間 5月~9月)              隣接地との境界確認、敷地面積及び既存建物の位置の特定等</li> <li>業務手法検討業務及び整備計画等作成業務              (委託期間 9月~令和2年6月)              立地条件の整理、整備に伴う法的問題の整理、              と畜方式のコスト比較検討              整備方式の違いによる建設コストの比較、図面の作成等</li> <li>12月 中間報告の提出</li> <li>ボーリング調査の実施              (委託期間 1月~3月)              地質調査及び水源井戸調査のためのボーリング調査</li> </ul>				<p><b>【商工業分野】</b></p> <p><b>【再掲】</b></p> <p>○新食肉センター整備推進 <b>【69千円】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本設計実施予定(9月補正対応予定)</li> <li>都市計画決定用図面作成業務(9月補正対応予定)</li> <li>家屋事前調査業務(9月補正対応予定)</li> <li>新食肉センター整備検討会3回程度(69千円)</li> </ul>

分野	連携テーマ 施策 アクションプラン 主な内容	平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算(取り組み)概要
連携分野						
		<b>【再掲】</b> ○養豚場誘致 6月～ 宿毛市内候補地での誘致対応 12月～ 四万十市内候補地での誘致対応 1月 四万十市内候補地での地元説明会				
	<b>【連携AP4】</b> (2) 四万十ヒノキ製品の商品力強化					
	◎四万十ヒノキブランドの確立《林業23》 ◎木材製品の生産拡大・商品力の強化《林業13・24》 ★木工製品の生産拡大・商品力の強化《林業14・24》	<b>【再掲】</b> ○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施 宿泊者 53組 延べ263名宿泊(12月末現在) 見学者 238名 ○四万十ヒノキブランド化推進協議会 ・強度測定試験の実施 全国ヒノキより優れていることをパンフレットでPR ・80ヒノキ(大口径ヒノキ)付加価値化の検討等 5月 総会開催 8月、11月 担当者会開催 <b>【再掲】</b> 10月 高知もくもくエコランド2019森林環境学習フェア (主催:高知県、もくもくエコランド実行委員会) (出店:四万十ヒノキブランド化推進協議会) 四万十ヒノキのPR 「幡多山もりフェス2019」 (主催:幡多山もりフェス実行委員会) (出店:㈱かわらっこ) ○協働の森づくり(3企業:体験交流、四万十ヒノキPR) 10～11月 間伐体験 (㈱清流メンテナンス、浅野環境ソリューション㈱) 日鉄エンジニアリング㈱	四万十市 (農林水産課) 森林組合 四万十ヒノキブランド化推進協議会 製材加工事業者	◆「四万十ヒノキ」としての知名度が向上し、ヒノキ製品の生産が拡大している ◆木材・木製品製造品出荷額等 H24:7億5,000万円 → H31:8億円 H25:7億9,477万円 H26:8億3,330万円 H27:8億5,542万円 H28:9億1,434万円 H29:8億496万円		<b>【林業分野】</b> <b>【再掲】</b> ○宿泊体験型モデルハウス管理費 <b>【319千円】</b> ・「四万十ヒノキの家」での見学、宿泊体験の実施 <b>【再掲】</b> ○四万十ヒノキブランド化推進協議会負担金 <b>【200千円】</b> ・高知県木造住宅フェアへ出展PR 予定 <b>【再掲】</b> ○フェア等の開催 ・「幡多山もりフェス2020」開催予定 ○協働の森づくり 林 335千円 ・3企業:体験交流、四万十ヒノキPR
	<b>【連携AP5】</b> (3) 水産物の高付加価値化					
	◎品質管理の向上《水産10》 ★商品力の強化《水産10》 ★未利用資源等の掘起しと利活用《水産11・14》 ★新たな商品の企画・開発の支援《水産11》	<b>【再掲】</b> ○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体:四万十市食文化磨き上げ研究会) <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・四万十の食文化の発信 市内小中学校の児童生徒へ食の発信冊子の配布 <b>【再掲】</b> ○地域おこし協力隊の配置(あゆ市場拠点に1名配置) 4月 ホームページ作成協議 6月 高知県商談会参加 9月 清流めぐり利き鮎会参加 ・商品開発 干物、鮎そぼろ、がね味噌、丸干し	四万十市 (農林水産課・観光商工課・産業建設課) 漁業協同組合 事業者 生産者	◆安定した品質が確保され、販売額の増加につながっている ◆一次産品等を活かした新商品の開発 H31:15アイテム ※水産物加工品以外を含む H27:257アイテム H28:177アイテム H29:207アイテム H30:117アイテム H31:127アイテム		<b>【水産分野】</b> <b>【再掲】</b> ○地域おこし協力隊経費 <b>【2,198千円】</b> ・あゆ市場拠点 1名配置(4月～10月)
	<b>【連携AP6】</b> (4) 地域資源を活かした商品開発					
	○事業者や地域グループ等の人材育成《商工5》 ★商品開発、販路開拓の推進組織の設立・運営《商工5》 ◎加工原料の安定確保に向けたマッチングの促進《商工1》	○地域おこし協力隊事業 ・地域振興関係4名配置(5月より須崎地区減員につき3名体制、11月より大宮地区減員につき2名体制) 富山地区、大川筋・後川地区にそれぞれ1名配置 ・地域振興関係3名募集(減員分の補充) 須崎地区、奥屋内地区、大宮地区に配置予定 ・産業振興関係2名配置 鮎市場内水面漁業振興として鮎市場に1名配置 農業振興担当として農業公社に1名配置	四万十市 (農林水産課・観光商工課・産業建設課、地域企画課) 関係団体・組織 事業者 生産者	◆事業者間や地域で協働した商品開発、販路開拓等の取組みが円滑に推進されている ◆一次産品等を活かした新商品の開発 H31:15アイテム H27:257アイテム H28:177アイテム H29:207アイテム H30:117アイテム H31:127アイテム		<b>【農業分野】</b> ○地域おこし協力隊(農業振興:西土佐1名) 農 3,815千円 <b>【水産分野】</b> <b>【再掲】</b> ○地域おこし協力隊経費(あゆ市場拠点1名) <b>【2,198千円】</b> <b>【商工業分野】</b> ○幡多広域地産外産推進協議会負担金 商 50千円 <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・幡多6市町村共同による外商活動を展開

※主な内容:★は新規、◎は拡充、○は継続

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主な内容	平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算(取り組み)概要
<b>連携分野</b> ◎事業者、地域等の提案を拾い上げる体制強化 《商工2・16》 ★事業者間のマッチング機会の創出 《商工2》 ○テストマーケティング 《商工1》 ○商品の品質、ラベル等の磨き上げや表示の適正化 《商工1》 ○新たな商品・サービス等の企画・開発支援 《商工3》 ○アドバイザーの派遣 《商工3》 ○試作品のテストマーケティング 《商工3》 ◎地域ならではのアイデア、資源を活かした商品開発 《商工16》	○地域グループとの意見交換会等 地域の情報発信や商品開発等に向けた総合的な支援策等を検討 ・大川筋地区 6月 地域農産物(桑の葉、ｲﾄﾞﾘ)等の外販状況について話し合い 10月 大川筋美楽来の商品検討及び県産品商談会への出展検討 3月 加工機材導入(予定) ・大屋敷地区 7月 東富山4地区での農産物外販について話し合い 10月 東富山4地区での農産物外販について話し合い ○幡多広域地産外商協議会 1月 総会、3月 作業部会 ・都市圏等の物産PR等継続事業の実施 9月 幡多バル西新宿2周年記念イベント 10月 幡多バル高知店2周年記念イベント ○四万十市地域商品研究会 (実施主体:四万十市地域商品研究会) 会員等:9事業所 会員連携による情報共有、商品開発、販路開拓等 <b>【再掲】</b> ○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体:四万十ぶしゅかん株式会社) 8月~10月 県外飲食店への青果サンプリングキャンペーン <b>【再掲】</b> ○地域おこし協力隊の配置 ・あゆ市場拠点に1名配置 ・商品開発 干物、鮎そぼろ、がね味噌、丸干し				○地域おこし協力隊経費(地域振興5名) 商 18,468千円 (中村地域)富山地区、大川筋・後川地区 (西土佐地域)須崎、大宮地区、奥屋内地区 ○特産品等販売促進事業(商談会出展) 商 1,634千円 <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・市内特産品販売促進のため、大規模商談会へ出展支援 事業費:1,397千円 第4回ライフスタイルWeek(幕張メッセ) ・産地視察型現地商談会の実施 地方創生包括連携協定(第一勧信、宿毛商銀) <b>れんけいこうちを活用</b> ・市内特産品販売促進のため、大規模商談会へ出展支援 事業費:237千円 ゲル&ダイングスタイルショー秋2020、ビジネスフェア中四国2021 まるごとにつぼん出展
<b>【連携AP7】</b> <b>(5)滞在型の観光商品づくり</b>					
◎観光マーケティングリサーチ 《観光1》 ★四万十市のどこが好きキャンペーンの実施 《観光1》 ◎観光商品としての検証と磨き上げ 《観光2》 ○専門家を活用した観光商品の磨き上げ 《観光2》 ◎観光商品づくりワークショップの開催 《観光3》 ★異業種交流会の開催 《観光3》 ◎地域の産業と連携した新たな観光商品づくり 《観光3》 ★閑散期のメニュー開発 《観光3》	○観光動向等アンケート調査 4月~ 観光案内所(観光協会)窓口で外国人観光客へのアンケート調査 5月(GW) 佐田沈下橋で観光動向アンケート 7月 H30の観光動向調査の結果集計 H30のイベント、祭りの入込数及びキャンプ場、海水浴場、温泉施設の利用者を集計し、観光動向調査報告書を作成調査 8月(お盆) 佐田沈下橋で観光動向アンケート ○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (実施主体:幡多広域観光協議会) <b>地方創生推進交付金を活用</b> 4月 教育旅行セールス(1回) 5月 教育旅行受入(4校)、商談会(1回) 6月 商談会(5回)、台湾教育旅行説明会(1回)、 ジャパンツアー受入(絶景列車4本) 7月 教育旅行受入(3校)、ジャパンツアー等受入(絶景列車3本) 商談会(1回) 8月 ぶしゅかんトレイン 9月 商談会(2回)、教育旅行受入(2校) 10月 商談会(3回)、教育旅行受入(3校) 11月 教育旅行セールス(1回)、商談会(1回) 教育旅行受入(1回)、クラブツーリズム受入(絶景列車5本) 12月 教育旅行セールス(1回)、商談会(1回) クラブツーリズム受入(絶景列車5本) 1月 台湾観光説明会(1回)	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 観光協会 四万十市観光振興連絡協議会 西土佐観光推進協議会 四万十市体験型観光受入研究会 幡多広域観光協議会 予土県境地域連携実行委員会 四万十川流域市町村観光振興連絡会 四国西南地域観光連絡協議会	◆多様な実施主体が連携を強め、満足度、リピート率の高い滞在型の観光プログラムを持続的に展開している ◆体験・宿泊等のプラン 作成件数 H31:107件 H27:37件 H28:07件 H29:07件 H30:27件 H31:07件 ◆広域における一般観光客数(一般旅行者) H26:1,238,750人 → H31:53,750人増 H27:1,173,511人 H28:1,185,968人 H29:1,193,182人 H30:1,180,466人		<b>【観光分野】</b> ○観光案内所運営補助金(四万十市観光協会) 観 7,200千円 ・観光協会観光案内所、臨時観光案内所での観光動向等 ○観光客誘致宣伝活動 観 3,791千円 <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・教育旅行、一般旅行の国内誘致活動(672千円) ・四万十市観光ガイドブック等作成(2,657千円) ・観光パンフレット送付(70千円) ・リピーターバッジ作成他(392千円) ○ONSEN・ガストロノミーツーリズム 観 1,890千円 <b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b> ・ガストロノミーウォーキングの実施、PV制作 ○四万十川を活用した魅力向上事業補助金 観 1,450千円 (実施主体:四万十市観光振興連絡会議) ・花と食をテーマとした観光イベント(四万十川花紀行等)の開催、検証等 ○四万十市体験型観光受入研究会 - ・体験プログラム等の開発・磨き上げ、家庭募集、研修ほか ○幡多広域観光協議会負担金 観 11,303千円 (実施主体:幡多広域観光協議会) <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・令和元年度に策定した幡多地域観光振興計画に基づき、自然・体験型観光キャンペーンと連携した事業を展開

分野	平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)		主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算(取り組み)概要
	連携テーマ	アクションプラン 主要内容				
	施策					
	連携分野					
連携分野	<p>○周遊観光プランの造成・発信及び販売 《観光5》</p> <p>2月 韓国青年訪問団受入(1回) 幡多バルツアー開催 四万十・足摺バスパス販売開始</p> <p>3月 教育旅行受入(1回)</p> <p>○四万十市観光振興連絡会議</p> <p>5月 紫陽花担当部会「安並水車の里紫陽花まつり」開催に向けて</p> <p>6月 総会「四万十川花紀行事業」等について検証</p> <p>6月 菜の花まつり担当部会</p> <p>6月 紫陽花選定作業(24人)</p> <p>11月 入田ヤナギ林菜の花まつり会場一斉清掃(106人)</p> <p>12月 四万十川河川敷お祭り広場イルミネーション(来場者3,924人)</p> <p>12月 菜の花まつり担当部会</p> <p>1月 菜の花まつり担当部会</p> <p>2月 入田ヤナギ林菜の花まつり会場清掃・草刈り・遊歩道整備</p> <p>○西土佐観光推進協議会</p> <p>10月 周遊観光の推進、情報発信強化等の検討・協議</p> <p>○四万十市体験型観光受入研究会</p> <p>4月 農村生活体験ホームステイに係る衛生講習会(2回)</p> <p>5月 受入家庭を対象とした研修会</p> <p>8月 総会開催</p> <p>9月 第26回全国ほんもの体験ネットワーク総会(四万十市)</p> <p>1月 意見交換会(19人)</p> <p>2月 農村生活体験ホームステイに係る衛生講習会(2回)</p> <p>3月 第16回全国ほんもの体験フォーラムin南信州</p> <p>○四国西南サミット観光部会</p> <p>7月 観光部会幹事会(於 大洲市)</p> <p>9月 四国西南フェスタin道の駅ひじかわ(四国西南10市町村参加) パンフレット配布・特産品販売 四万十市観光大使「やくみつる氏」による昆虫トークショー</p> <p>2月 観光部会の活動に関するアンケート調査</p> <p>○四万十川遊覧船協議会</p> <p>4月 協議会の開催 6月 救命講習・救命救助訓練</p> <p>2月 臨時総会の開催 3月 四万十川清掃活動</p> <p>○四万十リバーアクティビティ連絡協議会</p> <p>5月 総会</p> <p>9月 SHIMANTO RIVER FESTIVAL 2019 最後の夏休み(増水中止)</p> <p>11月 水難事故防止対応協議</p> <p>【再掲】</p> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体:四万十市食文化磨き上げ研究会) <b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>・四万十の食文化の発信 市内小中学校の児童生徒へ食の発信冊子の配布</p> <p>【再掲】</p> <p>○西土佐地域産業振興推進協議会</p> <p>4月～3月 15回の協議会開催 西土佐地域を巡るモニターツアー企画(3月実施)</p> <p>○インバウンド(外国人観光客)受入体制向上事業 (実施主体:四万十市観光協会) 着物で街歩きプラン(KIMONOLOILOI)の販売 4月～ 着物レンタル(呉服店と連携)による小京都中村の「街歩き」体験メニュー</p>	<p>◆広域におけるスポーツ客数 H25:91,500人 → H31:10,000人増 H27:108,039人 H28:142,104人 H29:136,414人 H30:178,977人</p> <p>◆広域における外国人延べ宿泊数 H31:13,300人泊 H27: 8,476人泊 H28: 8,830人泊 H29:10,718人泊 H30:12,101人泊</p> <p>◆広域組織における5つの機能</p> <p>①商品の企画・立案 ②商品の造成、販売、取扱 ③広報、情報発信、窓口 ④地域の人材育成 ⑤観光産業化 H31:強化</p>	<p>・周遊観光バスしまんと・あしずり号運行</p> <p>○四国西南サミット観光部会 ・県外等における誘致活動</p> <p>○四万十川観光遊覧船協議会 ・観光遊覧船事業の検証や磨き上げ(総会及び臨時会ほか)</p> <p>○四万十リバーアクティビティ連絡協議会 ・カヌーやサップなどアクティビティの推進</p> <p>○モンベルフレンドエリア登録 観 949千円 ・会員数約80万人を有するアウトドアメーカーの株 モンベルと提携し、四万十川周辺の観光素材や店舗 情報などをHPや情報誌で発信し観光誘客を図るもの。</p> <p>○スポーツ合宿支援補助金 観 1,000千円 ・市内宿泊施設、スポーツ施設を利用した合宿を支援</p> <p>○自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区 町村長の会 観 10千円</p> <p>○西土佐観光推進協議会 ・周遊観光の推進等</p> <p>○西土佐地域産業振興推進協議会 ・食や観光資源を活用し観光体験メニューを開発する</p> <p>○西土佐地域産業振興推進協議会 ・西土佐地域を巡るツアー企画</p>			

分野	連携テーマ	施策	アクションプラン	主な内容	平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
連携分野					7月 小京都ゆかたDAY (19団体152人) 3月 菜の花まつり「ゆかた貸出」 ○四万十流域サイクルロード整備プロジェクト <b>企業版ふるさと納税事業を活用</b> 8～9月 整備予定箇所の現地確認 11月～2月 ガードパイプ設置、路面補修 12月～3月 景観を阻害する樹木の伐採 2月 四国一周サイクリングルート路面標示ピクト整備 ○自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会 9月 四国ブロック会議 10月 第2回全国シマミット・しまなみゆめのしまサイクリングフェス 12月 総会 ○スポーツツーリズム 5月、11月、1月 スポーツ合宿誘致活動 10月 第17回四国一般男子ソフトボール大会開催 (8チーム) 11月 四万十市スポーツ合宿支援事業補助金の創設 (2泊以上かつ延50泊以上、1泊1,000円、上限10万円) H31補助活用4件 (交付決定2件、3月まで2件見込み) ○四万十川すみずみツーリズム連絡会議 6月 総会 ・情報交換、スタンプラリー開催				
2. 情報発信と販路開拓・拡大									
【連携AP8】									
(1) 地域製品の発信と販路開拓・拡大									
★産業間連携や広域連携による外商活動 《農業15、水産13、商工4・8》 ○商談会等販路開拓・拡大の支援 《農業15、水産13、商工4》	○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連) ・地産外商活動 4月～9月 松山大街道にて外商活動 46回 4月～11月 七駅物語プラス1 (愛媛県道の駅との連携) まんぶく街道実施 (スタンプラリー) 9月 北の恵みうまいものマルシェ2019 (旭川市) に出店 (ふるさと市、ぼっぼ栗、鮎市場) 10～3月 松山大街道にて外商活動 48回 (予定) 11月 フェスティバル土佐ふるさとまつり (高知市) 枚方市友好都市物産展 12月 高知大丸冬の味覚祭 3月 高知大丸春の味覚祭 <b>【再掲】</b> ○西土佐地域産業振興推進協議会 ・西土佐地域の素材を活かした地域活性化を協議 ○ふるさとまつり参加団体補助金 (300千円交付) 補助事業者: (株)西土佐ふるさと市 参加団体: 7事業者 ○地産外商活動 6月 地方物産品販売会: 第一勧信主催 (東京) 10月 霞マルシェ2019 (東京)、全国交流物産展 in 新橋 (東京) 11月 枚方市友好都市物産展 (大阪) 2月 地方物産品販売会: 第一勧信主催 (東京) ○特産品販売促進事業 (商談会出展) <b>地方創生推進交付金を活用</b> 2月 第27回グルメ&ダイニングスタイルショー春2020 (東京ビッグサイト) 1事業者出展 第54回スーパーマーケットトレードショー2020 (幕張メッセ) 2事業者出展	四万十市 (農林水産課・観光商工課・産業建設課・地域企画課) 関係団体・組織 事業者 生産者	◆産業間が連携し、多様な外商活動が展開されている ◆多様な広報・プロモーション活動が展開され、地域製品の販売促進につながっている ◆商談会等での商談件数 H26: 108件/年 → H31: 150件/年 H27: 134件/年 H28: 377件/年 H29: 743件/年 H30: 542件/年	【商工業分野】 ○特産品等販売促進事業 (四万十フェア開催) 商 267千円 ・都市圏で地域製品のPR、販売フェアを実施予定 <b>【再掲】</b> ○特産品等販売促進事業 (商談会出展) <b>【1,634千円】</b> <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・市内特産品販売促進のため、大規模商談会へ出展支援 事業費: 1,397千円 第4回ライフスタイルWeek (幕張メッセ) ・産地視察型現地商談会の実施 <b>れんけいこうちを活用</b> ・市内特産品販売促進のため、大規模商談会へ出展支援 事業費: 237千円 グルメ&ダイニングスタイルショー秋2020、ビジネスフェア中四国2021 まるごとっぽん出展 ○枚方市・四万十市友好都市推進協議会補助金 商 800千円 (実施主体: 枚方市・四万十市友好都市推進協議会) ・枚方物産展への出展ほか <b>【再掲】</b> ○幡多広域地産外商推進協議会負担金 <b>【50千円】</b> <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・幡多6市町村共同による外商活動を展開 <b>【再掲】</b> ○地産外商促進事業 (西土佐地域出店関係) <b>【592千円】</b> ・ふるさとまつり、枚方物産展、大丸フェア、ベルトロック <b>【再掲】</b> ○西土佐地域産業振興推進協議会 ・西土佐地域の素材を活かした地域活性化を協議					

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主な内容	平成31年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
連携分野					
★一元的な情報発信の促進 《商工4, 7, 観光7》  ◎地域の人、もの、コトの発信 《商工17》	○シティプロモーション推進事業 <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・4月～しまんとエコバッグ販売継続 ・4月～SNS等でのプロモーション動画発信継続 YouTube再生回数合計 25,603回/3編 (1月末) ・メディア等でのPV放映 テレビ朝日「ごほんジャパン」、日本テレビ「ヒルナンデス」他 高知市内大型LEDサイネージ広告 (2箇所: R2.2.1~5.10) ・四万十市ロゴPR等 9月 タンクローリー車体へロゴマークペイント 12月～ふるさと納税寄付者へのロゴPR ○四万十川花紀行事業 (開花情報の発信)				<b>【観光分野】</b> ○シティプロモーション推進事業 観 416千円 <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・PRツール作成、市関連施設ロゴ貼付等 ○四万十まるごと発信事業 観 1,000千円 (実施主体: 四万十市観光協会) <b>四万十市産振総合補助金 (地方創生推進交付金) を活用</b> ・首都圏拠点施設でのPRイベント実施
○事業者や地域グループ等の人材育成 《商工5》  ★商品開発、販路開拓の推進組織の設立・運営 《商工5》	<b>【再掲】</b> ○地域おこし協力隊事業 ・地域振興関係4名配置 (5月より須崎地区減員につき3名体制、11月より大宮地区減員につき2名体制) 富山地区、大川筋・後川地区にそれぞれ1名配置 ・地域振興関係3名募集 (減員分の補充) 須崎地区、奥屋内地区、大宮地区に配置予定 ・産業振興関係2名配置 鮎市場内水面漁業振興として鮎市場に1名配置 農業振興担当として農業公社に1名配置 <b>【再掲】</b> ○地域グループとの意見交換会等 地域の情報発信や商品開発等に向けた総合的な支援策等を検討 ・大川筋地区 6月 地域農産物 (桑の葉、イトリ) 等の外販状況について話し合い 10月 大川筋美楽来の商品検討及び県産品商談会への出展検討 3月 加工機材導入 (予定) ・大屋敷地区 7月 東富山4地区での農産物外販について話し合い 10月 東富山4地区での農産物外販について話し合い <b>【再掲】</b> ○幡多広域地産外商協議会 1月 総会、3月 作業部会 ・都市圏等の物産PR等継続事業の実施 9月 幡多バル西新宿店2周年記念イベント 10月 幡多バル高知店2周年記念イベント <b>【再掲】</b> ○四万十市地域商品研究会 (実施主体: 四万十市地域商品研究会) 会員連携による情報共有、商品開発、販路開拓等				<b>【農業分野】</b> <b>【再掲】</b> ○地域おこし協力隊 (農業振興: 西土佐1名) <b>【3,815千円】</b> <b>【水産分野】</b> <b>【再掲】</b> ○地域おこし協力隊経費 (あゆ市場拠点1名) 4月~10月 <b>【2,198千円】</b> <b>【商工業分野】</b> <b>【再掲】</b> ○幡多広域地産外商推進協議会負担金 <b>【50千円】</b> <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・幡多6市町村共同による外商活動を展開 <b>【再掲】</b> ○地域おこし協力隊経費 (中心市街地活性化1名) <b>【3,152千円】</b> <b>【再掲】</b> ○地域おこし協力隊経費 (まちなか景観形成1名) <b>【3,934千円】</b> <b>【再掲】</b> ○地域おこし協力隊経費 (地域振興4名) <b>【18,468千円】</b> (中村地域) 富山地区、大川筋・後川地区 (西土佐地域) 須崎、大宮地区、奥屋内地区
◎有機農産物の流通促進 《農業16》 ◎四万十キノキ製品の販売力の強化 《林業25》  ◎漁協の販売機能の強化 《水産12》  ★販路を見据えた漁業 《水産12》	<b>【再掲】</b> ○環境にやさしい農業のための研究会 4月～学校給食に農産物供給 5月 公家行列 (物産市) へ出店しPR 11月 枚方まつりへ出店しPR <b>【再掲】</b> ○地産外商活動 (実施主体: 四万十川西部漁業協同組合 (あゆ市場)) ・活鮎の豊洲市場出荷 (6月) ・イベント出店等				<b>【農業分野: 再掲】</b> ○環境にやさしい農業のための研究会 - ・学校給食に農産物供給、物産展等へ出展PR <b>【林業分野: 再掲】</b> ○四万十キノキブランド化推進協議会負担金 <b>【200千円】</b> ・高知県木造住宅フェアへ出展PR 予定 <b>【商工業分野: 再掲】</b> ○地産外商促進事業 (西土佐地域出店関係) <b>【592千円】</b> ・ふるさとまつり、枚方物産展、大丸フェア、ピートロッコ

分野	連携テーマ	施策	アクションプラン	主な内容	平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
連携分野									
		◎水産物・水産加工品のブランディングの構築と発信 《水産13》			4月 高知蔦屋書店 (高知市) 5月 道の駅世羅4周年 (広島) 9月 北の恵み食べマルシェ2019 (旭川市) 10月 全国交流物産展 in 新橋 (東京) 11月 フェスティバル土佐ふるさとまつり (高知市) 枚方市友好都市物産展 (大阪) 12月 西土佐産業祭、高知大丸冬の味覚祭 (高知市) 1月 土佐のおさかなまつり (高知市) 3月 高知大丸春の味覚祭 (予定) (高知市) 【再掲】 ○地域おこし協力隊の配置 ・あゆ市場拠点に1名配置 4月 ホームページ作成協議 6月 高知県商談会参加 9月 清流めぐり利き鮎会参加 ・商品開発 干物、鮎そぼろ、がね味噌、丸干し				【水産分野：再掲】 ○地域おこし協力隊経費 【2,198千円】 ・あゆ市場拠点 1名配置 (4月～10月)
		★土佐銀行跡地活用による拠点整備 《商工10》			【再掲】 ○旧土佐銀行跡地開発事業 (49,667千円) ・四万十市中心商店街活性化協議会を設立し、拠点施設を活用した中心市街地の活性化策について検討 5月 四万十市中心商店街活性化計画の策定 5月・11月 四万十市中心商店街活性化協議会の開催 7月・2月 身内で商店街ツアー実施 (7月:5店舗17名参加) 毎月1回 拠点施設を核とした商店街活性化の協議 (6月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月) 専門家派遣:4回 (8月、10月、12月、2月) 12月 施設名称決定:「Shimanto+Terrace はれのば」 (しまんとてらすはれのば) プレオープン3月23日				【商工業分野：再掲】 ○中心市街地にぎわい拠点施設維持管理事業 【2,535千円】 公共部分 (公園・トイレ) に係る維持管理費を補助 ○地域おこし協力隊経費 (中心市街地活性化1名) 【3,152千円】
		★道の駅「よって西土佐」の整備・機能強化 《農業13、商工10、18》			【再掲】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連) ・産地化促進講習会 9月 はじめてのワイン講座 12月 食品表示講習会				
		【連携AP9】 (2) 観光商品のセールス・情報発信							
		○広域連携によるキャンペーンの展開 《観光5》 ★営業力のある人材、組織の育成 《観光6》 ◎旅行社への営業活動の促進 《観光6》 ○旅行商品商談会等への出展 《観光6》 ★海外への営業活動の促進 《観光6》			○予土県境地域連携実行委員会 4～2月下旬 「サイクルトレイン四万十号」運行 (土日祝日) 9月 「四万十・南予横断2リバービューライド」 3月 総会 ○四国西南地域観光連絡協議会 8月 第1回総会開催 ・パンフレット「四国西南の旅」作成、配布 3月 第2回総会 ・R01年度事業の検証と来年度計画について ○四万十川流域市町村観光振興連絡会 4月～ 担当者協議 流域市町村周遊ルート作成 7月 総会開催 7月～ パンフレット作成 ○トム・ソーヤーアドベンチャースクール2019開催 (7月) (実施主体: (株)サニーマート) 【再掲】 ○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (実施主体: 幡多広域観光協議会) 地方創生推進交付金を活用	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆観光人材・組織のスキル (商品企画、営業力等) が向上し、産業間連携、広域連携のもと「待ちの誘客」から「動く誘客」にシフトしている ◆多様な広報・プロモーション活動が展開され、観光誘客につながっている ◆観光協会ホームページアクセス数 H26:119,577件 → H31:150,000件 H27:137,953件 H28:105,600件 H29:141,183件 H30:189,053件		【商工業分野】 ○特産品等販売促進事業(「さとむすび」運営委託料) 商 935千円 地域特産品等の情報を一元化し発信する仕組みの構築と、バイヤー等を招聘した産地視察と商談機会の創出、都市圏の飲食店への販路開拓に向けたフェア等を実施。 【観光分野】 【再掲】 ○幡多広域観光協議会負担金 【11,303千円】 (実施主体: 幡多広域観光協議会) 地方創生推進交付金を活用 ・令和元年度に策定した幡多地域観光振興計画に基づき、自然・体験型観光キャンペーンと連携した事業を展開 ・周遊観光バスしまんと・あしずり号運行 ○予土県境地域連携実行委員会負担金 観 550千円 ・サイクリングを核とした観光振興連携事業ほか ○四万十川流域市町村観光振興連絡会負担金 観 541千円 ・流域周遊促進にかかる事業ほか

分野	連携テーマ	施策	アクションプラン	主な内容	平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
連携分野				<p>○多様な媒体を活用した広報活動の強化 《観光7》</p> <p>★一元的な情報発信の促進 《商工4、7、観光7》</p> <p>★ターゲットに合わせたプロモーションの展開 《観光7》</p> <p>◎産業間連携や広域連携による誘客 (PR) 活動 《観光7》</p>	<p>4月 教育旅行セールス (1回)</p> <p>5月 教育旅行受入 (4校)、商談会 (1回)</p> <p>6月 商談会 (5回)、台湾教育旅行説明会 (1回)、ジャポ ツアーズ 受入 (絶景列車4本)</p> <p>7月 教育旅行受入 (3校)、ジャポ ツアーズ 等受入 (絶景列車3本) 商談会 (1回)</p> <p>8月 ぶしゅかんトレイン</p> <p>9月 商談会 (2回)、教育旅行受入 (2校)</p> <p>10月 商談会 (3回)、教育旅行受入 (3校)</p> <p>11月 教育旅行セールス (1回)、商談会 (1回) 教育旅行受入 (1回)、クラブ ツーリズム 受入 (絶景列車5本)</p> <p>12月 教育旅行セールス (1回)、商談会 (1回) クラブ ツーリズム 受入 (絶景列車5本)</p> <p>1月 台湾観光説明会 (1回)</p> <p>2月 韓国青年訪問団受入 (1回)、幡多パルツアー開催 四万十・足摺バス販売開始</p> <p>3月 教育旅行受入 (1回)</p> <p>○観光大使設置事業 (現在21名) 新規委嘱6名 (田邊勝氏、杉本美香氏、やくみつる氏、吉田長生氏、上田麻里名氏、太田幸希氏)</p> <p>5月 やくみつるさんと行く! 昆虫探しツアー (トンボ自然公園)</p> <p>9月 四国西南フェスタ in 道の駅ひじかわ (四国西南10市町村参加) ・やくみつるさん昆虫トークショー</p> <p>10月~ 観光大使イベント情報等の情報発信依頼 (6回)</p> <p>○観光客誘致宣伝活動 (実施主体: 四万十市観光協会) ・観光協会観光案内所、臨時観光案内所での観光動向調査 4月~ 観光案内所 (観光協会) 窓口での観光客アンケート 5月、8月 観光動向アンケート調査 (沈下橋な) ・旅行商談会 (国内) 出展 (6、9、10月) ・旅行商談会 (国外 (シンガポール)) 出展 (10月) 4月 モンベルクラブ・フレンドフェア2019春 (大阪) 11月 ふるさとチョイス大感謝祭 (横浜) 4月~ デジタルパンフレットの作成 8月 台湾テレビ局 (四万十川等の撮影) 10月 モニターツアー (FUNJAPAN) 含む情報発信 (台湾2名、タイ2名) 3月 旅行商品開発「幡多路の旅」 3月 西土佐モニターツアー「しまんとにしとさ半径3kmの旅」</p> <p>【再掲】</p> <p>○西土佐地域産業振興推進協議会 ・西土佐地域の素材を活かした地域活性化を協議</p> <p>【再掲】</p> <p>○シティプロモーション推進事業 地方創生推進交付金を活用 ・4月~ しまんとエコバッグ販売継続 ・4月~ SNS等でのプロモーション動画発信継続 YouTube再生回数合計 25,603回/3編 (1月末) ・メディア等でのPV放映 テレビ朝日「ごほんジャパン」、日本テレビ「ヒルナンデス」他 高知市内大型LEDサイネージ広告 (2箇所: R2.2.1~5.10) ・四万十市ロゴPR等 12月~ ふるさと納税寄付者へのロゴPR</p>				<p>○四国西南地域観光連絡協議会負担金 観 40千円 ・パンフレット作成ほか</p> <p>【再掲】</p> <p>○観光客誘致宣伝活動 【3,791千円】 地方創生推進交付金を活用 ・教育旅行、一般旅行の国内誘致活動 (672千円) ・四万十市観光ガイドブック等作成 (2,657千円) ・観光パンフレット送付 (70千円) ・リピーターバッジ作成他 (392千円)</p> <p>○観光大使設置事業 観 2,466千円 ・国内外への幅広い情報発信力を活かした広報活動を展開 (R2年度委嘱予定: 4名程度)</p> <p>【再掲】</p> <p>○シティプロモーション推進事業 【416千円】 地方創生推進交付金を活用 ・PRツール作成、市関連施設ロゴ貼付等</p> <p>【再掲】</p> <p>○四万十まるごと発信事業 【1,000千円】 (実施主体: 四万十市観光協会) 四万十市産振総合補助金 (地方創生推進交付金) を活用 ・首都圏拠点施設でのPRイベント実施</p> <p>【再掲】</p> <p>○西土佐地域産業振興推進協議会 - ・西土佐地域を巡るツアー企画</p>

分野	連携テーマ	施策	アクションプラン	主な内容	平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
連携分野					○リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～での取り組み (H31.2月開幕) 4月～ 市内循環 (四万十トローリー) バス・川バスの運行 多言語案内看板の設置 (四万十川流域) ・観光ガイドミーティング(3回) 4月1回、6月1回、10月1回 ・お試しガイド実施(3回) 5月1回、6月1回、12月1回				
				3. 四万十の“食”文化の磨き上げと発信					
				【連携AP10】 (1) “食”文化の磨き上げ					
				○四万十の食文化の掘起し、磨き上げ 《商工6》 ★地産地消認証店制度 《農業12、水産13、商工4・6》 ○塩たたきのブランド化の推進 《商工6》 ★ジビエ料理等の研究、普及 《商工6》 ★魚食文化の磨き上げ 《水産14》 ★未利用資源等の掘起しと利活用 《水産11、14》	【再掲】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体:四万十市食文化磨き上げ研究会) ・四万十の食文化の発信 市内小中学校の児童生徒へ食の発信冊子の配布 ○塩たたき提供店舗 (39店舗) による塩たたきの普及	四万十市 (農林水産課・観光商工課・産業建設課)  関係団体・組織 事業者 生産者	◆四万十の“食”として市内外の知名度が向上し、観光誘客など市街地への人の回遊につながっている ◆商店街通行者数 (平日) H22～H26平均 4,725人/日 → H31:4,845人/日  H27:4,591人/日 H28:4,676人/日 H29:5,878人/日 H30:6,208人/日 H31:5,607人/日		【水産分野】 【再掲】 ○地域おこし協力隊経費 ・あゆ市場拠点 1名配置 (4月～10月) <span style="float:right">【2,198千円】</span>
				【連携AP11】 (2) “食”の発信					
				◎食の魅力を活かした観光地づくり 《観光4》  ◎食の発信・普及イベントの開催 《水産15、商工7、観光4》  ★一元的な情報発信の促進 《商工4、7、観光7》  ◎産業間連携や広域連携による誘客 (PR) 活動 《観光7》  ★県外を拠点とした店舗等による外商推進 《商工8》	【再掲】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体:四万十市食文化磨き上げ研究会) ・四万十の食文化の発信 市内小中学校の児童生徒へ食の発信冊子の配布 ○外国人旅行者おもてなし向上事業 (実施主体:中村料理飲食店組合) ・組合飲食店でのメニュー多言語化 ○食の発信・普及イベント等 4月 苺一会まつり (道の駅よって西土佐) モンベルクラブ・フレンドフェア2019春 (大阪) 5月 新たまつり (道の駅よって西土佐) 6月 四万十川花紀行「紫陽花まつり」 天然鮎まつり (道の駅よって西土佐) 7月 夏のりきりまつり (道の駅よって西土佐) 8月 四万十ぶしゆかん解禁祭 ナスフェス、夏に感謝祭 (道の駅よって西土佐) 9月 栗まつり (道の駅よって西土佐) 四国西南フェスタ in道の駅ひじかわ (四国西南10市町村参加) 10月 新米まつり (道の駅よって西土佐) 11月 ゆずまつり (道の駅よって西土佐)、黒尊むらまつり ふるさとチョイス大感謝祭(横浜) 12月 西土佐産業祭、四万十うまいもの商店街 道の駅「よって西土佐」冬の大感謝祭 1月 新春新酒まつり (道の駅よって西土佐) 2月 しいたけまつり (道の駅よって西土佐) 3月 いちごまつり (道の駅よって西土佐) 四万十川花紀行「菜の花」まつり	四万十市 (農林水産課・観光商工課・産業建設課)  関係団体・組織 事業者 生産者	◆四万十の“食”として市内外の知名度が向上し、観光誘客や市街地への人の回遊につながっている ◆商店街通行者数 (平日) H22～H26平均 4,725人/日 → H31:4,845人/日  H27:4,591人/日 H28:4,676人/日 H29:5,878人/日 H30:6,208人/日 H31:5,607人/日  ◆一人当たりの観光消費額 H24:14,700円 → H31:18,150円  H27:13,939円 H28:15,246円 H29:— H30:— H31:— ◆産業祭来場者数 H25:2,000人 → H31:20,000人  H27:12,500人 H28:— H29:1,500人 H30:20,000人 H31:3,000人		【商工業分野】 ○外国人旅行者おもてなし向上事業 <span style="float:right">商 498千円</span> (実施主体:中村料理飲食店組合) ・組合飲食店でのメニュー多言語化 (市産振補助予定) 【再掲】 ○特産品等販売促進事業 (四万十フェア開催) <span style="float:right">【267千円】</span> ・都市圏で地域産品のPR、販売フェアを実施予定 【再掲】 ○地産外商促進事業 (西土佐地域出店関係) <span style="float:right">【592千円】</span> ・ふるさとまつり、枚方物産展、大丸フェア、ピルロク 【観光分野】 【再掲】 ○四万十川を活用した魅力向上事業補助金 <span style="float:right">【1,450千円】</span> (実施主体:四万十市観光振興連絡会議) ・花と食をテーマとした観光イベント (四万十川花紀行等) の開催、検証等 【再掲】 ○ONSEN・ガストロノミーツーリズム <span style="float:right">【1,890千円】</span> 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 ・ガストロノミーウォーキングの実施、PV制作 【再掲】 ○シティプロモーション推進事業 <span style="float:right">【416千円】</span> 地方創生推進交付金を活用 ・PRツール作成、市関連施設ロゴ貼付等

※主な内容:★は新規、◎は拡充、○は継続

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主要内容	平成31年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
連携分野					
	<p><b>【再掲】</b></p> <p>○シティプロモーション推進事業</p> <p style="text-align: center;"><b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月～ しまんとエコバッグ販売継続</li> <li>・ 4月～ SNS等でのプロモーション動画発信継続 YouTube再生回数合計 25,603回/3編 (1月末)</li> <li>・ メディア等でのPV放映 テレビ朝日「ごほんジャパン」、日本テレビ「ヒルナンデス」他 高知市内大型LEDサイネージ広告 (2箇所: R2.2.1~5.10)</li> <li>・ 四万十市ロゴPR等 9月 タンクローリー車体へロゴマークペイント 12月～ ふるさと納税寄付者へのロゴPR</li> </ul> <p><b>【再掲】</b></p> <p>○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (実施主体: 幡多広域観光協議会)</p> <p style="text-align: center;"><b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4月 教育旅行セールス (1回)</li> <li>5月 教育旅行受入 (4校)、商談会 (1回)</li> <li>6月 商談会 (5回)、台湾教育旅行説明会 (1回)、 ジャンボツアー受入 (絶景列車4本)</li> <li>7月 教育旅行受入 (3校)、ジャンボツアー等受入 (絶景列車3本) 商談会 (1回)</li> <li>8月 ぶしゅかんトレイン</li> <li>9月 商談会 (2回)、教育旅行受入 (2校)</li> <li>10月 商談会 (3回)、教育旅行受入 (3校)</li> <li>11月 教育旅行セールス (1回)、商談会 (1回) 教育旅行受入 (1回)、クラブツーリズム受入 (絶景列車5本)</li> <li>12月 教育旅行セールス (1回)、商談会 (1回) クラブツーリズム受入 (絶景列車5本)</li> <li>1月 台湾観光説明会 (1回)</li> <li>2月 韓国青年訪問団受入 (1回)、幡多パルツアー開催 四万十・足摺バスバス販売開始</li> <li>3月 教育旅行受入 (1回)</li> </ul>				<p><b>【再掲】</b></p> <p>○幡多広域観光協議会負担金 <span style="float: right;">【11,303千円】</span> (実施主体: 幡多広域観光協議会)</p> <p style="text-align: center;"><b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度に策定した幡多地域観光振興計画に基づき、自然・体験型観光キャンペーンと連携した事業を展開</li> <li>・ 周遊観光バスしまんと・あしずり号運行</li> </ul>

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主な内容	平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算(取り組み)概要
<b>農業分野</b>					
<b>1 産地としての維持・強化</b>					
<b>1. 戦略品目の生産拡大</b>					
<b>【農業AP1】</b>					
<b>(1)ぶしゅかんの産地づくり</b>					
○生産量の拡大と産地化の推進 ◎認知度向上、販路開拓、ブランド化の取組み	<b>【再掲】</b> ○ぶしゅかん産地化・普及推進事業 <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・PR活動 9月 ぶしゅかん青玉キャンペーン(東京都台東区:OKATTE) ・生産者支援(産地化促進) 10月～ 新規定植(苗代補助)80本 16a 新規定植予定圃場現地確認 有害鳥獣対策用防護柵(設置費補助) <b>【再掲】</b> ○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体:四万十ぶしゅかん株式会社) 8月～10月 県外飲食店への青果サンプリングキャンペーン <b>【再掲】</b> ○四万十ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体:四万十ぶしゅかん生産者組合) 8月 ぶしゅかん解禁祭(土佐くろしお鉄道)参加者約40名 ○ぶしゅかん栽培現地検討会 4月～3月 栽培管理指導 巡回指導 ○ぶしゅかん栽培基準検討会 (実施主体:四万十ぶしゅかん生産者組合) 6月～1月 無農薬等の栽培基準の制定など協議 ○販路開拓・販売促進活動 (実施主体:四万十ぶしゅかん(株)、四万十ぶしゅかん生産者組合) 6月 三井食品フードショー(大阪市) ○認知度向上の取組み ・ぶしゅまろクンが中村幼稚園に訪問しぶしゅかんPR ・菜の花まつりで具同保育所園児がぶしゅかんダンス披露	四万十市 (農林水産課・観光商工課) 生産者 事業者	◆ぶしゅかん新植面積 H26:0.9ha → H31:12ha H27:4.9ha H28:7.7ha H29:9.7ha H30:10.9ha H31:11.7ha ◆ぶしゅかん生産量 H26:13t → H31:54t H27:16t H28:22t H29:18t H30:28t H31:21t		<b>【再掲】</b> ○ぶしゅかん産地化推進事業 <b>【4,571千円】</b> <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・新規定植(苗代への補助) 2,000本 400a ・有害鳥獣対策用防護柵(設置費補助) 1,500m ・栽培指導等業務委託 生産量増加及び品質向上を目的とし生産者に植栽から収穫、出荷に至るまでの生産指導の業無委託 ・都市圏等でのぶしゅかんブランディングキャンペーンの展開 ・キャンペーン用パンフレット、ポスター作成 <b>【再掲】</b> ○ぶしゅかん産地化推進計画の策定 ・目標栽培面積・生産量、青玉の流通(選果体制) ※市・振興センター・生産者組織・加工業者等で協議 <b>【再掲】</b> ○地理的表示保護制度(GI)登録に向けた調査研究 ※地域で育まれた農産物の伝統と品質基準を守る証(国が地域の特産品の「名称」を知的財産として保護) <b>【再掲】</b> ○四万十ぶしゅかん(株)を主体に各種商談会、展示会、物産展等での販路開拓・販売促進活動を展開
<b>【農業AP2】</b>					
<b>(2)ゆずの産地化促進</b>					
○生産性の向上 ○隔年結果の低減や青果率、秀品率の向上 ◎「四万十ゆず」のブランド化の推進	○現地検討会(6月) (実施主体:JA高知県中村支所) ○目慣らし会 (実施主体:JA高知県中村支所) 10月 黄玉ゆず目慣らし会 1月 貯蔵ゆず目慣らし会 2月 剪定講習会(予定)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知県 生産者 事業者	◆ゆず栽培面積 H26:42.5ha → H31:42.5haを維持 H27:43.4ha H28:44.0ha H29:44.1ha H30:44.0ha ◆ゆず生産量 H26:445t → H31:445tを維持 H27:310t H28:486t H29:553t H30:377t		○高知県ゆず振興対策協議会負担金 * 27千円 ・連携した取組みの推進 ○剪定、誘引指導の実施 ○目慣らし会、ゆず出荷販売検討会 (実施主体:JA高知県中村支所) ○ゆず加工品の販売促進 (実施主体:JA高知県中村支所) ○「四万十ゆず」の地域団体商標登録に向けた取組みの推進 (実施主体:JA高知県中村支所) ・「四万十ゆず」の名称で青果の出荷販売
<b>【農業AP3】</b>					
<b>(3)栗の産地再生</b>					
○栗園の再生 ○栗の集出荷の支援	<b>【再掲】</b> ○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 (実施主体:(株)しまんと美野里) 9月～ 栗の集出荷、縮間伐、新改植	四万十市 (産業建設課) JA高知県 生産者 事業者	◆栗栽培面積 H26:39.5ha → H31:47ha H27:41.8ha H28:43.9ha H29:45.8ha H30:48.0ha		<b>【再掲】</b> ○栗暮プロジェクト <b>【2,759千円】</b> <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・栗園モデル事業 ・栗園の縮間伐技術指導

分野		平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
農業分野						
◎「四万十栗」のブランド化の推進		<b>【再掲】</b> ○栗暮プロジェクト <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・西土佐橋地区栗実証農園運営 農業公社へ運営委託 ・水田転換(栗園へ転換) 0.7ha(予定) ・苗木補助 1,300本(予定) ・栽培技術講習会 2回(予定) ○四万十栗の認知度向上(西土佐地域) (実施主体:JA高知県西土佐支所栗部会) ・枚方市友好都市物産展への出品及びPR ○栗等の集出荷(西土佐地域) (実施主体:高知県農業協同組合) ・栗を含め地域振興作物の集出荷を高知県農業協同組合が独自に実施		◆栗生産量 H26:15.1t → H31:60t H27:22.1t H28:26.1t H29:29.6t H30:16.1t H31:19.6t		・産地化促進補助(苗木補助) ・水田転換推進事業(平場新植推進) ○園芸作物等の集出荷を継続実施 (JA高知県西土佐支所、(株)しまんと美野里)
【農業:AP4】 (4)有望品目の産地強化						
◎地域に根づいた有望品目による産地の育成・強化	○レンタルハウス整備事業 (実施主体:高知県農業協同組合、生産者) ・レンタルハウス整備事業地域協議会 6月 高度化区分1件・規模拡大化区分1件 7月 流動化区分1件 9月 新規就農区分1件 ・補助金交付決定 7月 高度化区分1件・規模拡大化区分1件 8月 流動化区分1件 10月 新規就農区分(変更交付決定) ・補助事業完了 3月完了見込み	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知県 四万十農園あぐりっこ 西土佐農業公社 集落営農組織 生産者	◆有望品目の安定生産や新規品目が地域内で定着し、安定した農業経営につながっている		○レンタルハウス整備事業 * 74,617千円 ・新規就農区分3件 60,167千円(ピーマン、生姜、トマト) ・規模拡大区分1件 14,450千円(大葉) ○園芸ハウス整備事業 * 1,563千円 ・既存ハウスの修繕(7件) 生姜3件、ピーマン、大葉、イチゴ、ミョウガ ○燃料タンク対策事業 * 2,166千円 ・流出防止付タンク及び防油堤の整備:2基分 ○新規作物導入試作支援事業 (実施主体:西土佐農業公社等) ・栽培実証及び販売促進等を支援 ・西土佐農業公社で試験栽培を実施 ○わさび栽培実証実験事業 * 3,013千円 ・四万十市わさび栽培協議会 負担金 栽培実証試験の継続 ○野菜価格安定事業(基金協会負担金) * 1,000千円 ・補給金:2,000千円(市1,000千円、JA1,000千円) ○野菜価格安定事業(市事業分) * 2,000千円 中村地域のみ 市・JA・生産者 1/3負担 対象品目:オクラ・シシトウ・ナバナ ○園芸作物価格安定事業(特別会計) * 16,070千円 (実施主体:園芸作物価格安定基金評議会)	
○新規品目導入の支援	○園芸ハウス整備事業 4月 交付決定3件(オクラ農家6月完了、メロン農家9月完了、 トマト農家10月完了) 6月 交付決定1件(ピーマン7月完了) 7月 交付決定2件(生姜農家12月完了) 9月 交付決定1件(生姜農家11月完了) 10月 交付決定2件(インゲン農家10月完了、生姜農家12月完了) 11月 交付決定1件(トマト農家12月完了) 12月 交付決定1件(生姜農家2月完了)					
○野菜価格安定制度による経営支援	○燃料タンク対策事業 (実施主体:高知県農業協同組合) 南海トラフ地震による2次災害発生リスクの軽減のため園芸ハウス加温燃料タンクを流失防止付きタンク置き換え 9月 タンク整備着工、11月 タンク整備完了 ○わさび実証実験事業 (実施主体:四万十市わさび栽培協議会) 4月~ わさびの栽培管理 7、12、2、3月 わさび栽培現地検討会 1月 わさび試食会 2月 ブランド化調査視察(東京豊洲、新潟糸魚川) ○野菜価格安定事業(中村地域) (実施主体:四万十市中村野菜価格安定基金協会) 5月に給付(前年度分) H30年度実績 オクラ:6千円、シシトウ:53千円、ナバナ:69千円 ○園芸作物価格安定事業(西土佐地域) (実施主体:園芸作物価格安定基金評議会) 11月 評議会を開催 (4月以降) 補給金支払					



分野		平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
農業分野						
		4～1月 東富山を守る会協議:14回 利岡ファーム協議:19回 (農)入田村協議:3回 (農)わらびおか協議:2回 8月、11月 集落営農組織連絡協議会(中村地域) ・集落営農広域化の取り組み検討 ・地元住民との交流 6月 小学校児童との田植え(若藤営農組合・利岡小学校) 10月 小学校児童との稲刈り(若藤営農組合・利岡小学校) ○集落営農支援事業(ソフト事業) 1月 先進地視察(広島県)		H29:33組織 H30:31組織 H31:31組織 ◆農業経営を行う法人数 H26:2法人 →H31:9法人 H27:5法人 H28:4法人 H29:4法人 H30:4法人 H31:5法人		○既存組織へのフォローアップ ・集落営農組織連絡協議会(年2回程度) 法人化、先進組織の取り組み事例紹介 ・組織別座談会 事業導入や法人化に向けた勉強会の開催 ・地元住民との交流 小学校児童との田植えや稲刈り (若藤営農組合・利岡小学校) ○集落営農支援事業(ソフト事業) * 526千円 ・先進地視察(組織化への誘導、既存組織へのフォローアップ・支援)
【農業:AP9】 (2)こうち型集落営農の実践						
	○収益性の高い品目を導入した組織の育成・支援	○集落営農支援事業(ハード事業) 営農組織に対する農業用機械、施設整備等の助成 ・農事組合法人わらびおか 6月 田植機交付決定(1,120千円) 12月 トラクター、ウイングハロー交付決定(3,672千円) ・東富山を守る会 9月 畦塗機交付決定(390千円) ○利岡地区集落営農(法人化)に向けた協議 4～1月 利岡地区協議19回	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 集落営農組織 JA高知県 生産者	◆収益性の高い品目を導入する組織が育成されている		○集落営農支援事業(ハード事業) * 6,829千円 組織に対する農業用機械、施設整備の助成 ・農事組合法人わらびおか 畦塗機 ・農事組合法人田野川甲営農組合 農業用倉庫 ・農事組合法人四万十利岡FARM 田植機、トラクター、ウイングハロー、畦塗機 播種機、育苗機 ・西土佐すさき営農組合 色彩選別機 ・農事組合法人大宮新農業クラブ ドローン ○営農活動の持続・拡充に向けた取組み支援の継続 * 300千円 組織が農の雇用事業を活用した場合の助成 ・農事組合法人入田村 雇用確保支援 1名
4. 生産・出荷支援システムの構築						
【農業:AP10】 (1)農作業支援体制の充実						
	★農作業支援体制の整備	○農作業支援隊による農業労働力確保事業 (実施主体:高知県農業協同組合) 【事業実績:12月末】幡東管内 ・無料職業紹介所 求職者:72件、求人:64件、マッチング:42人役 ・農作業支援 堆肥散布:700t、作業支援:25件、WCS収穫、梱包:336a 育苗:ブロッコリー514枚、ニラ8,542枚、紹介所の周知PR 【事業実績:12月末】北番管内 ・無料職業紹介所 求職者:15件、求人:15件、マッチング:57人役 ○農作業支援体制の整備 1月 幡多地域の労働力確保対策の体制づくりについて協議 幡多地域市町村及びJAと今後の方向性について確認 通年 市役所2階図書館入口に募集ポップの設置 随時 PR強化:JA広報、折込	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知県	◆無料職業紹介所 H26:1箇所 (北幡地域(西土佐)) →H31:2箇所 (幡東地域(中村)を増設) H27:1箇所 H28:2箇所 H29:2箇所 H30:2箇所 H31:2箇所		○無料職業紹介 (実施主体:JA高知県) ・幡東、北幡地域で無料職業相談所運営を継続 ○労働力確保 (事業主体:JA高知県) ・労働力確保対策チーム会(仮称)の設置 ・JA出荷場での労働力確保を皮切りにした取り組みの開始 ・農福連携の可能性の模索、マッチング
【農業:AP11】 (2)集出荷支援体制の充実						
	★集出荷拠点施設の設定、整備 ○集出荷の支援	【再掲】 ○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 (実施主体:株式会社美野里) 9月～ 栗の集出荷、縮間伐、新改植	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知県	◆生産・出荷支援システム 取組件数 H26:5件 →H31:5件(維持)		○農産物の集出荷や生活支援を継続実施 (実施主体:富山地域) ・中山間直接支払制度を活用

※主な内容:★は新規、◎は拡充、○は継続

分野		平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
農業分野						
		○ぶしゅかん集出荷事業 (実施主体：四万十ぶしゅかん生産者組合) 8月～10月 集出荷支援 ※収穫体制として多機能事業所「アオ」と連携	ぶしゅかん生産者組合 東富山を守る会	H27: 5件 H28: 5件 H29: 5件 H30: 5件 H31: 5件		【再掲】 ○園芸作物等の集出荷を継続実施 (実施主体：JA高知県西土佐支所 他)
<b>2 地元農畜産物の利用・販売促進</b>						
1. 地元農畜産物の利用促進						
【農業: AP12】 (1) 地元消費拡大に向けた取組みの強化	主な内容 ◎公共施設での利用促進、★連携ネットワーク形成、★地元消費拡大フェアの開催⇒ 連携AP 1 ★地産地消認証店制度、◎市内量販店等を拠点とした販路拡大⇒ 連携AP 2					
【農業: AP13】 (2) 直販機能の強化	主な内容 ○直販所機能の強化、★道の駅「よって西土佐」の整備・機能強化⇒ 連携AP 2					
2. ブランド化の確立と販売促進						
【農業: AP14】 (1) ブランド化の推進	主な内容 ◎戦略品目のブランド化、★40010日プロジェクト⇒ 連携AP 3      ★新食肉センターを核とした地域産業の振興⇒ 連携AP 2、連携AP 3					
【農業: AP15】 (2) 地元農畜産物を使った商品の開発・販売	主な内容 ○地元農畜産物を使った商品の開発、◎意欲的な生産者への支援⇒ 連携AP 3 ★産業間連携や広域連携による外商活動、○商談会等販路開拓・拡大の支援⇒ 連携AP 8					
3. 有機農業の推進						
【農業: AP16】 (1) 有機農産物の販路開拓・拡大	主な内容 ◎有機農産物の流通促進⇒ 連携AP 1、連携AP 8      ◎公共施設での利用促進⇒ 連携AP 1					
【農業: AP17】 (2) 有機農業の普及・啓発活動の推進						
○有機農業の普及・啓発	【再掲】 ○有機農業等総合支援事業 化学肥料に頼らない土作りのため、市内の家畜ふん堆肥や有機物堆肥の施用の経費やその散布を支援し、循環型農業を推進 ・堆肥等有機物利用促進 4～1月実績 10件 (中村2件、西土佐8件)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 環境にやさしい農業のための研究会 生産者	◆四万十川のブランドイメージにマッチした有機農業が推進され、消費者からの支持が集まり、農産物の高付加価値が高まっている ◆有機農業等総合支援事業実施面積 H26: 11.5ha → H31: 12ha H27: 13.2ha H28: 12.8ha H29: 6.6ha H30: 1.6ha		【再掲】 ○有機農業等総合支援事業 ・化学肥料に頼らない土作りのため、市内の家畜ふん堆肥や有機物堆肥の施用にかかる経費やその散布を支援し、循環型農業を推進 【再掲】 ○環境にやさしい農業のための研究会との連携	【243千円】 -
3 担い手の確保・育成						
1. 新規就農者の確保・育成						
【農業: AP18】 (1) 新規就農者の研修支援						
○新規就農者の確保・育成 ◎新規就農者に対する農地提供促進	○新規就農研修支援事業 研修生手当、受入農家等研修補助金を交付 ・中村地域 4月～ 四万十農園めぐりっこ 研修生1名 受入農家 研修生3名 (内1名は3月就農予定) ・西土佐地域 4月～ 西土佐農業公社 研修生0名 ○農地等の斡旋 ・空き農地、空きハウス情報収集・提供 (中村地域) ・市HP (新規就農者募集ページ) のリニューアル	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 四万十農園めぐりっこ 西土佐農業公社 JA高知県	◆新規就農者数 ※移住夫婦研修者含む H31: 3人/年 H27: 3人/年 H28: 2人/年 H29: 4人/年 H30: 2人/年 H31: 4人/年		○新規就農研修支援事業 * 600千円 ・研修生手当 (継続3名、新規0名) ・受入農家等研修補助金 (継続3名、新規0名) ○四万十農園めぐりっこ運営費 * 9,648千円 ○営農指導拠点施設 (西土佐農業公社) 運営費 * 14,315千円 ・営農指導拠点施設管理 ・研修生受入れ (継続0名) ○農地の斡旋 ・空き農地、ハウス情報収集 (中村地域)	-
【農業: AP19】 (2) 新規就農支援体制の拡充						
○相談支援体制の充実 ○経営安定への支援 ◎就農開始時の支援	○新規就農支援チームによるトータルサポート ・経営計画作成支援等 (2名実施) ・営農指導、経営指導、事業導入、資金利用計画等のサポート ・サポート体制の確立 ・経営計画作成支援等 ・営農指導、経営指導、事業導入、資金利用計画等のサポート	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 四万十農園めぐりっこ 西土佐農業公社 JA高知県	◆新規就農者数 ※移住夫婦研修者含む H31: 3人/年 H27: 3人/年 H28: 2人/年 H29: 4人/年 H30: 2人/年 H31: 4人/年		○農業次世代人材投資資金事業 * 26,469千円 ・就農相談会への参加 (東京1回、大阪1回) ・就農初期段階の青年就農者への経営支援 継続対象者: 14名、新規対象者: 4名	-

分野		平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
農業分野						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○県外での合同就農相談会等出展 1月 東京、11月 大阪 各1回</li> <li>○農業次世代人材投資資金 (経営開始型) 交付 継続対象者: 14名、新規対象者3名</li> <li>○中山間農業複合経営拠点整備事業 (実施主体: 四万十市【四万十農園あぐりっこ】) ・ポットファームシステム1式 (事業費: 1,755千円) ・環境制御装置2台 (事業費: 3,046千円) (実施主体: 西土佐農業公社) ・乗用草刈機の購入補助 (11月) (補助金額: 600千円) ・移動式雨よけハウス (2棟・20a) (補助金: 1,884千円) 予定</li> </ul>				<b>【再掲】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○レンタルハウス整備事業 <b>【74,617千円】</b> ・新規就農区分3件 60,167千円(ピーマン、生姜、トマト)</li> <li>○就農相談・経営安定化支援 ・就農支援チームによるトータルサポート 営農指導、経営指導、事業導入、資金利用計画等</li> <li>○中山間農業複合経営拠点整備事業 * 497千円 (実施主体: 西土佐農業公社) ・充電式剪定バサミ3機</li> </ul>
	【農業: AP20】 (3) 移住促進による新規就農支援					
	◎移住就農者の誘致活動の強化 ◎1ターン (夫婦就農) 者に対する支援拡充	<b>【再掲】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県外での合同就農相談会等出展 1月 東京、11月 大阪 各1回</li> </ul>	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 四万十農園あぐりっこ 西土佐農業公社 JA高知県	◆新規就農者数 ※移住夫婦研修者含む H31: 3人/年 H27: 3人/年 H28: 2人/年 H29: 4人/年 H30: 2人/年 H31: 4人/年		<b>【再掲】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○農業次世代人材投資資金事業 <b>【26,469千円】</b> ・就農相談会への参加 (東京1回、大阪1回)</li> </ul>
2. 認定農業者等の育成						
	【農業: AP21】 (1) 認定農業者制度の周知強化					
	○今後育成すべき農業者の把握、誘導 ○認定農業者制度の周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経営所得安定対策推進事業 経営所得安定対策受付時にナラシ対策及び収入保険の説明と誘導 5月 中村地域: 6回、西土佐地域: 3回</li> <li>○認定農業者制度 (見込み含む) ・5年経過の更新認定 (中村地域: 45人、西土佐地域: 4人) ・新規認定 (中村地域: 4人、西土佐地域: 1名) ・新規就農者へ制度説明・誘導 (随時) ・認定新規就農者の5年経過した者等へ制度説明・誘導 (随時)</li> <li>○人・農地問題解決加速化支援事業 (実質化事業) ・人・農地プランの実質化 10~3月 将来の営農意向などのアンケートの実施 農地所有者等の年齢、将来の意向別の地図作成</li> </ul>	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知県	◆認定農業者数 H25: 127人 → H31: 150人 H27: 135人 H28: 133人 H29: 137人 H30: 139人		<ul style="list-style-type: none"> <li>○認定新規就農者の5年経過した者を認定農業者へ誘導</li> <li>○経営所得安定対策推進事業 * 2,084千円 ・経営所得安定対策受付時やJA水稻生産部でナラシ対策希望者を誘導</li> <li>○人・農地問題解決加速化支援事業 (実質化事業) * 1,204千円 ・各地域での座談会、検討会、公表</li> </ul>
	【農業: AP22】 (2) 認定農業者等のフォローアップの強化					
	◎認定農業者等のフォローアップの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○認定農業者のフォローアップ 6月 認定農業者への「農業経営塾」開講の案内 再認定者の計画策定支援 (中村地域: 14件) 11月 再認定者の計画策定支援 (中村地域: 8件) 12月 全国担い手サミットin静岡へ参加 (3名) 1月 西土佐地域認定農業者連絡協議会総会開催 2月 高知県担い手サミットへ参加 3月 再認定者の農業経営改善計画作成支援 (中村地域16名) 随時 H27新規認定者へのフォローアップ</li> <li>○スーパーL資金利子補給 8月 スーパーL資金上半期利子補給 (中村1件、西土佐1件) 2月 スーパーL資金下半期利子補給 (西土佐2件)</li> </ul>	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知県 認定農業者連絡協議会	◆認定農業者数 H25: 127人 → H31: 150人 H27: 135人 H28: 133人 H29: 137人 H30: 139人		<ul style="list-style-type: none"> <li>○担い手育成・確保対策事業 * 1,195千円 ・認定農業者のフォローアップ</li> <li>○農業後継者育成支援 (西土佐地域) * 70千円 ・評議会において農業後継者育成のための各種事業の検討及び実施</li> <li>○農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金) 利子補給 * 10千円</li> </ul>
	【再掲】 3. 集落営農の推進					
	【農業: AP8】 (1) 集落営農の組織化、法人化の支援	主な内容 ○組織化に向けた取組みの推進、◎フォローアップ体制の充実・強化⇒ 農業AP8				

分野		平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
農業分野						
	【農業: AP9】 (2) こうち型集落営農の実践	主な内容 ○収益性の高い品目を導入した組織の育成・支援⇒ 農業AP9				
<b>4 農地の利用促進</b>						
<b>1. 農地の利用調整</b>						
	【農業: AP23】 (1) 農地利用の円滑化					
	○農地中間管理機構の活用 ◎地域の農業委員による農地の利用調整	○農地中間管理事業 ・市内全域で中間管理事業実施に向けた農地の掘り起こし ・掘り起こした農地の中間管理権設定 50,648㎡ ・中間管理権設定農地の受け手への配分 ○農業委員等による農地の利用調整 8月～ 農地パトロールの実施 11月～ 利用意向調査実施 12月 利用意向調査結果の取りまとめ結果 (機構利用希望データ) の機構への引き渡し、情報提供	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 農業委員会	◆営農類型に応じた農地集積、農地利用の円滑化 (流動化) が促進されている		○農地中間管理事業 200千円 ・農地中間管理機構 (県農業公社) と連携した農地の集団化と担い手の育成 ・事業制度の周知 ・農地の出し手の掘り起こし (対象地域: 市内全域) ○農業委員による農地の利用調整 ・利用意向調査の実施 ・農地パトロール (空き農地情報の収集)
	【農業: AP24】 (2) 営農類型等に応じた農地の集積					
	○農業振興地域整備計画の全体見直し ○人・農地プラン作成、更新の支援 ○新規参入、品目転換における適地誘導	○農業振興地域整備計画の見直し ・整備計画の定期見直し (5年毎) により、計画の見直しを実施 見直し手続き継続、県と協議中 【再掲】 ○人・農地問題解決加速化支援事業 (実質化事業) ・人・農地プランの実質化 10～3月 将来の営農意向などのアンケートの実施 農地所有者等の年齢、将来の意向別の地図作成	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知県	◆営農類型に応じた農地集積、農地利用の円滑化 (流動化) が促進されている		【再掲】 ○人・農地問題解決加速化支援事業 【1,204千円】 ・各地域での座談会、検討会、公表
	【農業: AP25】 (3) 基盤整備の推進					
	○入田地区整備 ○利岡、三里地区整備 ○その他の地区整備	○入田地区 (H30明許、H30補正、H31現年) ほ場整備工事 施工面積 0.5ha 確定測量委託、換地委託等 ○利岡地区 (H30明許、H30補正、H31現年) ほ場整備工事 施工面積 (2工区、6工区) 9.1ha (来年度にかけ施工) 3工区他12.5haは換地委託等 工損調査 ○三里地区 (H30明許、H30補正、H31現年) ほ場整備工事 施工面積 3.2ha ※令和2年度へ繰越換地委託等 ○農業農村整備計画策定に伴う進捗確認 ○面整備完了後の促進事業検討協議 既存整備地区終了後の基盤整備について随時検討協議 (既存整備地区はH32頃整備完了予定) 促進費交付は最短で令和4年度から	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 地区組織	◆ほ場整備実施面積 H26: 1,064.9ha → R2: 1,144.0ha H27: 15.3ha (入田) 1,080.2ha (全体) H28: 12.4ha (入田) 6.7ha (三里) 1,099.3ha (全体) H29: 5.8ha (入田) 4.9ha (三里) 2.5ha (利岡) 1,112.5ha (全体) H30: 1.2ha (入田) 1.0ha (利岡) 4.0ha (三里) 1,118.7ha (全体) H31: 0.5ha (入田) 9.1ha (利岡) 1,128.3ha (全体)		○入田地区整備 (県営事業負担金) * 120,100千円 ・全体面積: 35.2ha R2舗装、補完工事 令和2年度事業費120,100千円 (内R1補正: 43,000千円) 負担金10% ○利岡地区整備 (県営事業負担金) * 300,000千円 ・全体面積: 25.1ha R2施工面積: 12.5ha 令和2年度事業費300,000千円 (内R1補正: 232,000千円) 負担金10% ○三里地区整備 (県営事業負担金) * 85,000千円 ・全体面積: 18.8ha R2施工面積: 3.2ha 河道付替え 令和2年度事業費85,000千円 (内R1補正: 23,000千円) 負担金10% ○整備検討地区との協議を随時実施 既存整備地区終了後の集約化に伴う促進事業について随時検討協議 (既存整備地区はH32頃整備完了予定)
	<b>2. 耕作放棄地対策</b>					
	【農業: AP26】 (1) 耕作放棄地の再生及び発生防止対策					
	○耕作放棄地の再生 ○耕作放棄地の発生防止対策	○耕作放棄地の再生 農地利用意向調査による再生地情報の取得 農地パトロールによる再生地確認	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 農業委員会	◆中山間地域等直接支払制度の実施農地面積 H31: 461.6haを維持 H27: 458.3ha		○耕作放棄地の再生 ・農業委員による農地パトロール (対象地域: 市内全域)

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要						
						農業分野					
							○耕作放棄地の発生防止対策 ・中山間地域等直接支払交付金 (四万十市計) 交付予定額 88,463千円 交付組織数 49組織 ・多面的機能支払推進交付金 (四万十市計) 交付予定額 110,549千円 交付組織数 61組織 9月 中山間直接支払現地調査 (中村、西土佐地域) 2月～3月 中山間直接支払協定、地域別協議 (中村地域)	集落協定組織 農地・水保全組織	H28:458.8ha H29:508.5ha H30:518.9ha H31:521.4ha ◆多面的機能支払制度の実 施農地面積 H31:1,513haを維持 H27:1,533.8ha H28:1,519.8ha H29:1,491.6ha H30:1,487.8ha H31:1,446.1ha		○耕作放棄地の発生防止対策 ・中山間地域等直接支払交付金 * 105,284千円 (合同研修会開催ほか推進事務費含む) ・多面的機能支払交付金 * 115,250千円 (合同研修会開催ほか推進事務費含む)
						【農業:AP27】 (2) 適合品目の栽培促進					
○適合品目の栽培促進	<p>【再掲】</p> <p>○ぶしゅかん集出荷事業 (実施主体: 四万十ぶしゅかん生産者組合) 8月～10月 集出荷支援 ※収穫体制として多機能事業所「アオ」と連携</p> <p>【再掲】</p> <p>○ぶしゅかん産地化・普及推進事業 地方創生推進交付金を活用 10月～ 新規定植 (苗代補助) 80本 16a 新規定植予定圃場現地確認 有害鳥獣対策用防護柵 (設置費補助)</p> <p>【再掲】</p> <p>○栗暮プロジェクト 地方創生推進交付金を活用 ・西土佐橋地区栗実証農園運営 農業公社へ運営委託 ・水田転換 (栗園へ転換) 0.7ha (予定) ・苗木補助 1,300本 (予定) ・栽培技術講習会 2回 (予定)</p> <p>【再掲】</p> <p>○四万十市西土佐地域米ナス振興推進事業 (実施主体: JA高知県西土佐支所米ナス部会) 11月 米ナスの消費地動向調査 (枚方市)</p>	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 生産者	<p>◆ぶしゅかん新植面積 H26:0.9ha → H31:12ha H27:4.9ha H28:7.7ha H29:9.7ha H30:10.9ha H31:11.7ha</p> <p>◆ゆず栽培面積 H26:42.5ha → H31:42.5haを維持 H27:42.5ha H28:42.5ha H29:42.5ha H30:42.5ha H31:42.5ha</p>		<p>【再掲】</p> <p>○ぶしゅかん産地化推進事業 【4,571千円】 地方創生推進交付金を活用 ・新規定植 (苗代への補助) 2,000本 400a ・有害鳥獣対策用防護柵 (設置費補助) 1,500m ・栽培指導等業務委託 生産量増加及び品質向上を目的とし生産者に植栽 から収穫、出荷に至るまでの生産指導の業無委託 ・都市圏等でのぶしゅかんブランディングキャン ペーンの展開 ・キャンペーン用パンフレット、ポスター作成</p> <p>【再掲】</p> <p>○栗暮プロジェクト 【2,759千円】 地方創生推進交付金を活用 ・栗園モデル事業 ・栗園の縮間伐技術指導 ・産地化促進補助 (苗木補助) ・水田転換推進事業 (平場新植推進)</p> <p>【再掲】</p> <p>○四万十市西土佐地域米ナス振興推進事業 【690千円】 (実施主体: JA高知県西土佐支所米ナス部会) 四万十市産振総合補助金 (地方創生推進交付金) を活用 ・販促資材作成、販路開拓、広告宣伝等</p>						

分野		平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
林業分野						
1 四万十の山づくり						
1. 長期的視点に立った産地づくり						
【林業: AP 1】						
(1) ヒノキ産地としての意識の醸成						
★ヒノキ産地としての市民意識の醸成	<p>【再掲】</p> <p>○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施 宿泊者 53組 延べ263名宿泊 (12月末現在) 見学者 238名</p> <p>【再掲】</p> <p>○四万十ヒノキブランド化推進協議会 ・強度測定試験の実施 ・80年生ヒノキ (大口径ヒノキ) 付加価値化の検討等 5月 総会開催 8月、11月 担当者会開催</p> <p>【再掲】</p> <p>○フェア等への参加 10月 高知もくもくエコランド2019森林環境学習フェア (主催: 高知県、もくもくエコランド実行委員会) (出店: 四万十ヒノキブランド化推進協議会) 四万十ヒノキのPR 「幡多山もりフェス2019」 (主催: 幡多山もりフェス実行委員会) (出店: 榊かわらっこ)</p>	四万十市 (農林水産課) 森林組合 林業事業体 四万十ヒノキブランド化推進協議会	◆市民、森林所有者へ品質に優れたヒノキ資源が全国有数であり、ヒノキ産地として森林整備の必要性が周知されているとともに、山 (林業) や木材への関心が高まっている		<p>【再掲】</p> <p>○宿泊体験型モデルハウス管理費 <b>【319千円】</b> ・「四万十ヒノキの家」での見学、宿泊体験の実施</p> <p>【再掲】</p> <p>○四万十ヒノキブランド化推進協議会負担金 <b>【200千円】</b> ・高知県木造住宅フェアへ出展PR 予定</p> <p>【再掲】</p> <p>○フェア等の開催 ・「幡多山もりフェス2020」開催予定</p>	
◎森林所有者の意識の醸成	○提案型集約化施策の推進 ・森林組合、林業事業体で森林所有者へのアプローチ・啓発、提案型集約化施策への地権者合意形成を推進				○提案型集約化施策の推進 ・森林組合、林業事業体で森林所有者へのアプローチ・啓発、提案型集約化施策への地権者合意形成を推進	
【林業: AP 2】						
(2) 計画的な森林管理・経営の促進						
○森林資源の現状把握とデータ管理の徹底	○施策をした森林の市有林台帳のデータ修正・管理 ・造林補助事業等により市有林台帳を随時更新 ○森林整備地域活動支援交付金事業 (H31年間計画) ・森林経営計画作成促進 (経営委託型) 面積80ha ・森林経営計画作成促進 (共同施業型) 面積218.29ha ・森林経営計画、施業集約化に向けた条件整備 (路網整備) 25ha ○林地台帳整備 ・台帳システムの機能向上作業	四万十市 (農林水産課) 森林組合 林業事業体	◆計画的な森林管理・経営に向け「森の工場」や森林経営計画が整備促進されている ◆「森の工場」の認定面積 H26: 3,586ha → H31: 4,000ha H27: 3,834ha H28: 3,318ha H29: 3,046ha H30: 3,100ha		○施策をした森林の市有林台帳のデータ修正・管理 ・造林補助事業等により市有林台帳を随時更新 ○森林整備地域活動支援交付金事業 * 4,473千円 (R2年間計画) ・森林経営計画作成促進 (経営委託型) 面積70ha ・森林経営計画作成促進 (共同施業型) 面積86.52ha ・森林境界の確認: 70ha ○林地台帳整備 ・台帳整備を行ったので経営計画等に役立てる	
○経営類型の明確化	○森林経営計画の作成 林業事業体等が森林経営計画を作成し経営類型を明確化 計画変更3件 (中村市森林組合、四万十市、土佐建興) 新規計画12件 (遠山産業2件、中村市森林組合1件、四万十市2件、西土佐村森林組合7件)				○森林経営計画の作成 ・林業事業体等が森林経営計画を作成し経営類型を明確化	
【林業: AP 3】						
(3) 提案型集約化施策の推進						
○森林所有者へのアプローチの強化 ○森林経営計画策定の促進 ○森の工場の推進	<p>【再掲】</p> <p>○提案型集約化施策の推進 ・森林組合、林業事業体で森林所有者へのアプローチ・啓発、提案型集約化施策への地権者合意形成を推進</p> <p>【再掲】</p> <p>○森林整備地域活動支援交付金事業 (H31年間計画) ・森林経営計画作成促進 (経営委託型) 面積80ha ・森林経営計画作成促進 (共同施業型) 面積218.29ha ・森林経営計画、施業集約化に向けた条件整備 (路網整備) 25ha</p>	四万十市 (農林水産課) 森林組合 林業事業体	◆「森の工場」や森林経営計画が整備促進されている ◆「森の工場」の認定面積 H26: 3,586ha → H31: 4,000ha H27: 3,834ha H28: 3,318ha H29: 3,046ha H30: 3,100ha		<p>【再掲】</p> <p>○提案型集約化施策の推進 ・森林組合、林業事業体で森林所有者へのアプローチ・啓発、提案型集約化施策への地権者合意形成を推進</p> <p>【再掲】</p> <p>○森林整備地域活動支援交付金事業 <b>【4,473千円】</b> ・森林経営計画作成促進 (経営委託型) 面積70ha ・森林経営計画作成促進 (共同施業型) 面積86.52ha ・森林境界の確認: 70ha</p>	

分野		平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
林業分野						
		○森の工場(協働の森づくり事業は別途掲載) 継続実施分 ・常六地区(センチオロシ) 搬出12ha、作業道2,670m(10,976千円) ・富山西地区(ネドラシ) 搬出間伐5.79ha(5,113千円) ・片魚地区(ゴロス) 搬出間伐6.68ha、80m(4,060千円) ・奥屋内地区森の工場 搬出間伐9.96h(7,234千円)				○森の工場(協働の森づくり事業は別途掲載) * 47,203千円 継続実施分 ・竹屋敷地区(オオダバ):搬出15ha、作業道2000m ・常六地区:搬出10ha、作業道1000m ・上古尾地区:搬出15ha、作業道2000m ・大屋敷地区:搬出10ha、1500m ・大西ノ川地区:搬出15ha ・奥屋内地区:搬出10ha、作業道500m
2. 長伐期施業の推進						
【林業:AP4】 (1)長伐期施業方針の策定と普及啓発						
	★長伐期施業方針の策定と普及啓発	○長伐期施業方針の策定(継続:策定済)	四万十市(農林水産課)	◆長伐期施業方針が広く認知されている		○長伐期施業方針の策定(継続:策定済) —
【林業:AP5】 (2)長伐期施業技術(ノウハウ)の蓄積						
	★市有林におけるモデル林の整備 ★長伐期施業の経営シュミレーションの検証	○市有林整備事業 ・三里地区市有林造林業務 新植10ha、歩道1100m、ネット1300m(13,988千円) ○協働の森づくり ・板ノ川地区(フシツク)搬出8ha(5,362千円) ・高瀬地区(松尾山)【造林事業】 搬出12ha、作業道300m(11,862千円)	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体 四万十ヒノキブランド化推進協議会	◆長伐期施業に関するノウハウ、技術体系が確立されている		○市有林整備事業 * 39,999千円 ・大西ノ川地区:搬出5ha、作業道500m ・住次郎地区(ヒソラ谷):搬出15ha、作業道1500m ・三里(不町山ノ内):下刈り32ha ○協働の森づくり * 10,357千円 ・板ノ川(フシツク):作業道補修100m ・高瀬地区(松尾山):搬出3ha ・藤ノ川森の工場:搬出10ha、作業道500m
【林業:AP6】 (3)長伐期施業技術(ノウハウ)の普及						
	★長伐期施業の講習会等の開催		四万十市(農林水産課) 四万十ヒノキブランド化推進協議会	◆長伐期施業に関するノウハウ、技術体系が確立され、普及している		【再掲】 ○四万十ヒノキブランド化推進協議会負担金 【200千円】 ・長伐期の講習会を実施予定
3. 適切な皆伐、間伐による原木生産の拡大						
【林業:AP7】 (1)森林の特性に応じた皆伐、間伐の実践						
	○森林の特性に応じた皆伐、間伐の実践	【再掲】 ○市有林整備事業 ・三里地区市有林造林業務 新植10ha、歩道1100m、ネット1300m(13,988千円) 【再掲】 ○協働の森づくり ・板ノ川地区(フシツク)搬出8ha(5,362千円) ・高瀬地区(松尾山)【造林事業】 搬出12ha、作業道300m(11,862千円) 【再掲】 ○森の工場(協働の森づくり事業は別途掲載) 継続実施分 ・常六地区(センチオロシ) 搬出12ha、作業道2,670m(10,976千円) ・富山西地区(ネドラシ) 搬出間伐5.79ha(5,113千円) ・片魚地区(ゴロス) 搬出間伐6.68ha、80m(4,060千円) ・奥屋内地区森の工場 搬出間伐9.96h(7,234千円)	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体	◆原木生産量 H24:47,000m <sup>3</sup> → H31:60,000m <sup>3</sup> H25:75,573m <sup>3</sup> H26:93,790m <sup>3</sup> H27:52,540m <sup>3</sup> (ハイマス含) H28:57,146m <sup>3</sup> (ハイマス含) H29:71,945m <sup>3</sup> (ハイマス含)		【再掲】 ○市有林整備事業 【39,999千円】 ・大西ノ川地区:搬出5ha、作業道500m ・住次郎地区(ヒソラ谷):搬出15ha、作業道1500m ・三里(不町山ノ内):下刈り32ha 【再掲】 ○協働の森づくり 【10,357千円】 ・板ノ川(フシツク):作業道補修100m ・高瀬地区(松尾山):搬出3ha ・藤ノ川森の工場:搬出10ha、作業道500m 【再掲】 ○森の工場(協働の森づくり事業は別途掲載) 【47,203千円】 継続実施分 ・竹屋敷地区(オオダバ):搬出15ha、作業道2000m ・常六地区:搬出10ha、作業道1000m ・上古尾地区:搬出15ha、作業道2000m ・大屋敷地区:搬出10ha、1500m ・大西ノ川地区:搬出15ha ・奥屋内地区:搬出10ha、作業道500m

分野		平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
林業分野						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○緊急間伐総合支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公益林保全整備 (搬出間伐) : 15.67ha</li> <li>・森林整備支援 (搬出間伐) : 2.0ha</li> <li>・作業道 : 1,112m 作業道修繕1件</li> </ul> </li> <li>○環境林整備事業 (組合等が県へ直接申請) <ul style="list-style-type: none"> <li>・木材生産を目的とせず、森林の環境公益の発揮を目指す森林を「環境林」と定め、切捨て間伐を実施</li> </ul> </li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○緊急間伐総合支援事業 * 5,596千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公益林保全整備 (搬出間伐) : 16.58ha</li> <li>・森林整備支援 (搬出間伐) : 3.0ha</li> <li>・作業道 : 2,300m</li> </ul> </li> <li>○環境林整備事業 (組合等が県へ直接申請) - <ul style="list-style-type: none"> <li>・木材生産を目的とせず、森林の環境公益の発揮を目指す森林を「環境林」と定め、切捨て間伐を実施</li> </ul> </li> </ul>
【林業:AP8】 (2) 施業の効率化と低コスト化						
<ul style="list-style-type: none"> <li>○作業道や林業機械導入への支援</li> <li>○林内路網の維持管理</li> </ul>	<p>【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○森の工場 (協働の森づくり事業は別途掲載) 継続実施分 <ul style="list-style-type: none"> <li>・常六地区 (センチオロシ) 搬出12ha、作業道2,670m (10,976千円)</li> <li>・富山西地区 (ネドラシ) 搬出間伐5.79ha (5,113千円)</li> <li>・片魚地区 (ゴロス) 搬出間伐6.68ha、80m (4,060千円)</li> <li>・奥屋内地区森の工場 搬出間伐9.96h (7,234千円)</li> </ul> </li> <li>【再掲】</li> <li>○協働の森づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・板ノ川地区 (フシツク) 搬出8ha (5,362千円) 搬出8ha (5,362千円)</li> <li>・高瀬地区 (松尾山) 【造林事業】 搬出12ha、作業道300m (11,862千円)</li> </ul> </li> <li>○緊急間伐総合支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業道 1,112m (2,000千円) 3月完了予定</li> </ul> </li> <li>○ふるさと暮らし支援事業 (作業道の改良・舗装) <ul style="list-style-type: none"> <li>・林道舗装資材 : 5路線 (総延長=300m、1,000千円)</li> <li>・作業道整備 : 3路線 (総延長=192.8m、1,412千円)</li> </ul> </li> <li>○林道・作業道維持補修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・維持工事1件 (126千円)</li> </ul> </li> <li>○森林・山村の多面的機能発揮対策交付金事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林機能強化:L=2,496m (作業道整備) 3月完了予定</li> </ul> </li> </ul>	四万十市 (農林水産課) 森林組合 林業事業体	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆効率的な作業システムによる施業の低コスト化が進んでいる</li> <li>◆作業道開設実績延長累計            H25: 709,795m → H31: 790,000m            H26: 739,719m            H27: 766,252m            H28: 802,235m            H29: 836,368m</li> </ul>	<p>【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市有林整備事業 【39,999千円】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大西ノ川地区 : 搬出5ha、作業道500m</li> <li>・住次郎地区 (ヒソラ谷) : 搬出15ha、作業道1500m</li> <li>・三里 (不町山ノ内) : 下刈り32ha</li> </ul> </li> <li>【再掲】 【47,203千円】</li> <li>○森の工場 (協働の森づくり事業は別途掲載) 継続実施分 <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹屋敷地区 (オオダバ) : 搬出15ha、作業道2000m</li> <li>・常六地区 : 搬出10ha、作業道1000m</li> <li>・上古尾地区 : 搬出15ha、作業道2000m</li> <li>・大屋敷地区 : 搬出10ha、1500m</li> <li>・大西ノ川地区 : 搬出15ha</li> <li>・奥屋内地区 : 搬出10ha、作業道500m</li> </ul> </li> <li>【再掲】</li> <li>○協働の森づくり 【10,357千円】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・板ノ川 (フシツク) : 作業道補修100m</li> <li>・高瀬地区 (松尾山) : 搬出3ha</li> <li>・藤ノ川森の工場 : 搬出10ha、作業道500m</li> </ul> </li> <li>【再掲】</li> <li>○緊急間伐総合支援事業 【5,596千円】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公益林保全整備 (搬出間伐) : 16.58ha</li> <li>・森林整備支援 (搬出間伐) : 3.0ha</li> <li>・作業道 : 2,300m</li> </ul> </li> <li>○ふるさと暮らし支援事業 (林道・作業道の舗装・開設) * 2,500千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・林道舗装 : 5路線 (1,000千円)</li> <li>・作業道開設 : 3路線 (1,500千円)</li> </ul> </li> <li>○林道維持補修 * 7,853千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・維持工事3件他</li> </ul> </li> <li>○林道改良 (片魚四手ノ川線) * 3,000千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・舗装、側溝、路側改良 (総延長=1,125m)</li> </ul> </li> </ul>		
【林業:AP9】 (3) 低コスト再造林、育林の実践						
<ul style="list-style-type: none"> <li>◎低コスト再造林、育林の実践</li> <li>◎防護柵の設置と捕獲の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防護柵設置 (県補助) 補助金180千円 延長 L=200m 3月完了予定</li> <li>○国防護柵設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥獣被害防止対策総合支援交付金 交付決定額118,421千円 28地区 柵 L=78,000m 3月完了予定</li> <li>・ソフト事業 (オリ) 2,686千円</li> </ul> </li> <li>○有害鳥獣捕獲報償金による捕獲 <ul style="list-style-type: none"> <li>1月末現在の捕獲頭数 ( ) は計画</li> <li>シカ 1,646頭 (2,800頭)、イノシシ 1,772頭 (1,500頭)</li> <li>サル 32頭 (100頭)、ハクビシン 245頭 (400頭)</li> <li>カワウ 406羽 (500羽)</li> </ul> </li> </ul>	四万十市 (農林水産課) 森林組合 林業事業体 四万十市有害鳥獣被害対策協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆低コスト再造林、育林のノウハウ、技術体系の確立が進んでいる</li> <li>◆シカの捕獲頭数            H26: 4,446頭 → H31: 6,000頭            H27: 4,055頭            H28: 3,151頭            H29: 2,989頭            H30: 2,776頭</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鳥獣被害防除対策事業 (防護柵設置ほか) * 2,650千円</li> <li>○国防護柵設置 - <ul style="list-style-type: none"> <li>(事業主体 : 四万十市有害鳥獣被害対策協議会)</li> <li>・国へ要望中</li> </ul> </li> <li>○有害鳥獣捕獲報償金による捕獲 * 63,325千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥獣被害対策実施隊員報酬 (200千円)</li> <li>・年間計画 : シカ 3,200頭 イノシシ 1,700頭            サル 50頭 ハクビシン 350頭            カワウ 500羽</li> </ul> </li> </ul>		

※主な内容: ★は新規、◎は拡充、○は継続

分野	戦略の柱	平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
	施策					
	アクションプラン					
	主な内容					
林業分野						
4. 林業事業体や担い手の確保、育成						
【林業: AP10】 (1) 林業事業体及び林業技術者の育成支援						
○林業事業体、林業技術者の育成	<p>○「緑の雇用」事業 雇用者12人(森林組合8名、林業事業体4名) 新規雇用者: 3人(森林組合3人、林業事業体0人) 2年目: 4人(森林組合1人、林業事業体3人) 3年目: 5人(森林組合4人、林業事業体1人)</p> <p>○林業担い手育成支援事業 「緑の雇用」事業で新規就業者(1年目から3年目まで)を雇用している林業事業体へ、技術指導料として補助金を交付 60,000円×12カ月×12名=8,640千円 【再掲】</p> <p>○市有林整備事業 ・三里地区市有林造林業務 新植10ha、歩道1100m、ネット1300m(13,988千円) 【再掲】</p> <p>○協働の森づくり ・板ノ川地区(フシツク) 搬出8ha(5,362千円) 搬出8ha(5,362千円) ・高瀬地区(松尾山)【造林事業】 搬出12ha、作業道300m(11,862千円)</p> <p>○林業技術者研修の開催(3月開催予定) (実施主体: 幡多流域林業活性化センター)</p>	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体 四万十ヒノキブランド 化推進協議会 幡多林業活性化センター	<p>◆経営能力の高い森林組合、林業事業体が効率的な生産活動を展開している</p> <p>◆効率的な林業生産活動を行うことができる優れた担い手が育成されている</p> <p>◆新規林業就業者数 → 3人/年</p> <p>H27: 7人/年 H28: 5人/年 H29: 4人/年 H30: 4人/年 H31: 3人/年</p>	○「緑の雇用」事業 ・雇用者12人(森林組合8名、林業事業体4名) 予定 新規雇用者: 5人(森林組合4人、林業事業体1人) 2年目: 3人(森林組合3人、林業事業体0人) 3年目: 4人(森林組合1人、林業事業体3人)	○林業担い手育成支援事業 * 8,640千円 「緑の雇用」事業で新規就業者(1年目から3年目まで)を雇用している林業事業体へ、技術指導料として補助金を交付 60,000円×12カ月×12名 【再掲】	
○森林組合の経営力強化	○環境林整備事業(組合等が県へ直接申請) ・木材生産を目的とせず、森林の環境公益の発揮を目指す森林を「環境林」と定め、切捨て間伐を実施 ・森林組合の事業量(収益)の確保			○環境林整備事業(組合等が県へ直接申請) ・木材生産を目的とせず、森林の環境公益の発揮を目指す森林を「環境林」と定め、切捨て間伐を実施 ・森林組合の事業量(収益)の確保		
【林業: AP11】 (2) 森林保育等の活動グループへのアプローチ						
★兼業型林業事業者の育成支援	【再掲】 ○林地残材の搬出促進 バイオマス証明書発行4件(うち公共事業関係1件) 1月末: 99.54㎡ ○原木増産推進事業(レンタルタイプ) ・小規模林家が行う林業機械レンタルの補助 バックヤーク×4名	四万十市(農林水産課) 兼業型林業事業者	◆林業生産活動を行う多様な担い手が育成されている	【再掲】 ○林地残材の搬出促進 ・バイオマス証明書発行 ○原木増産推進事業(レンタルタイプ) ・林業事業体の要望を取りまとめ県へ要望中		
【林業: AP12】 (3) 自伐林家及び集落組織等の育成						
★自伐林家及び集落組織等の育成	【再掲】 ○林地残材の搬出促進 バイオマス証明書発行4件(うち公共事業関係1件) 1月末: 99.54㎡ 【再掲】 ○森林・山村の多面的機能発揮対策交付金事業 ・5組織申請(3月完了予定) 里山保全活動: 35.9ha、侵入竹除去・竹林整備: 0.4ha 森林資源利用: 1.7ha、森林機能強化: L=2,496m(作業道整備)	四万十市(農林水産課) 自伐林家等	◆林業生産活動を行う多様な担い手が育成されている	【再掲】 ○林地残材の搬出促進(バイオマス証明書発行) ○森林・山村の多面的機能発揮対策交付金事業 * 211千円 ・活動組織要望予定: 4組織 ・支援取組活動 里山保全(2.0ha)、侵入竹除去・竹林整備(1.0ha) 森林資源利用(3.8ha)、森林機能強化(作業道: L=100m) ※予算額は市費上乘せ分		

分野		平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要	
戦略の柱							
施策							
アクションプラン							
主な内容							
林業分野							
2 供給体制の強化							
1. 加工事業体の生産力等強化							
【林業: AP13】 (1) 木材製品の生産の拡大・商品力の強化	主な内容 ◎木材製品の生産の拡大・商品力の強化⇒ 連携AP 4						
【林業: AP14】 (2) 木工製品の生産の拡大・商品力の強化	主な内容 ★木工製品の生産の拡大・商品力の強化⇒ 連携AP 4						
2. 供給体制の効率化							
【林業: AP15】 (1) 市産材製品ストック施設整備							
★市産材製品のストック施設整備		四万十市 (農林水産課)	◆市産材製品ストック施設整備→H31:整備				
【林業: AP16】 (2) 山元選別の促進による流通経費の削減							
★山元選別の促進による流通経費の削減		四万十市 (農林水産課) 森林組合 林業事業体 製材加工事業者	◆流通の効率化が進み、市産材の流通量が拡大している				
【林業: AP17】 (3) 木材流通ネットワークの構築	主な内容 ★木材流通ネットワークの構築⇒ 連携AP 1						
3 市産材の利用促進と販売力の強化							
1. 市産材の利用促進							
【林業: AP18】 (1) 公共建築等での市産材の率先利用	主な内容 ◎公共建築物の木造化・木質化の促進⇒ 連携AP 1						
【林業: AP19】 (2) 木造住宅の建築促進	主な内容 ◎木造住宅建築への支援、★コーディネート組織の設立⇒ 連携AP 1						
【林業: AP20】 (3) 木造化、木質化への情報発信、普及、啓発の強化	主な内容 ◎木造化、木質化への情報発信、普及、啓発の強化、★地元消費拡大フェアの開催⇒ 連携AP 1						
2. 木質バイオマス利用促進							
【林業: AP21】 (1) 林地残材等の搬出の促進	主な内容 ◎林地残材等の搬出の促進⇒ 連携AP 1						
【林業: AP22】 (2) 木質バイオマス利用設備の普及促進	主な内容 ◎木質バイオマスボイラー等の普及促進⇒ 連携AP 1						
3. 四万十ヒノキブランドの確立と販売力の強化							
【林業: AP23】 (1) 四万十ヒノキブランドの確立	主な内容 ◎四万十ヒノキのブランド化の推進⇒ 連携AP 4						
【林業: AP24】 (2) 四万十ヒノキ製品の生産拡大、商品力の強化	主な内容 ◎木材製品の生産の拡大・商品力の強化、★木工製品の生産の拡大・商品力の強化⇒ 連携AP 4						
【林業: AP25】 (3) 四万十ヒノキ製品の販売力の強化	主な内容 ◎四万十ヒノキ製品の販売力の強化⇒ 連携AP 8						
4 健全な森づくり							
1. 人と鳥獣の良好・適切な環境づくり							
【林業: AP26】 (1) 鳥獣被害対策							
【再掲】 ◎防護柵の設置と捕獲の促進	【再掲】 ○防護柵設置 (県補助) 補助金180千円 延長 L=200m 3月完了予定	四万十市 (農林水産課) 四万十市有害鳥獣被害対策協議会	◆シカの捕獲頭数 H26: 4,446頭 → H31: 6,000頭 H27: 4,055頭 H28: 3,151頭			【再掲】 ○鳥獣被害防除対策事業 (防護柵設置ほか)	【2,650千円】

※主な内容: ★は新規、◎は拡充、○は継続

分野		平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
林業分野						
		<b>【再掲】</b> ○国防護柵設置 ・鳥獣被害防止対策総合支援交付金 交付決定額118,421千円 28地区 柵 L=78,000m 3月完了予定 ・ソフト事業 (オリ) 2,686千円 <b>【再掲】</b> ○有害鳥獣捕獲報償金による捕獲 1月末現在の捕獲頭数 ( ) は計画 シカ 1,646頭 (2,800頭)、イノシシ 1,772頭 (1,500頭) サル 32頭 (100頭)、ハクビシン 245頭 (400頭) カワウ 406羽 (500羽)		H29:2,989頭 H30:2,776頭		<b>【再掲】</b> ○国防護柵設置 (事業主体:四万十市有害鳥獣被害対策協議会) ・国へ要望中 <b>【再掲】</b> ○有害鳥獣捕獲報償金による捕獲 <b>【63,325千円】</b> ・鳥獣被害対策実施隊員報酬 (200千円) ・年間計画:シカ 3,200頭 イノシシ 1,700頭 サル 50頭 ハクビシン 350頭 カワウ 500羽
	<b>【林業:AP27】</b> (2) 捕獲の担い手確保、育成					
	◎捕獲の担い手の確保、育成	○新規狩猟者の確保 市広報7月号、11月号でPR ○新規狩猟者免許試験予備講習会受講料補助金 利用者14名 ○新規狩猟者射撃教習受講料補助 利用者2名 (上記14名の内数)	四万十市 (農林水産課) 狩友会	◆シカの捕獲頭数 H26:4,446頭 → H31:6,000頭 H27:4,055頭 H28:3,151頭 H29:2,989頭 H30:2,776頭		○新規狩猟者の確保 ・広報でPR予定 ○新規狩猟者免許試験予備講習会受講料補助金 * 240千円 ・年間利用者数見込み:20人 ○新規狩猟者射撃教習受講料補助 * 185千円 ・年間利用者数見込み:5人
	2. 森のものの活用					
	<b>【林業:AP28】</b> (1) 特用林産物の生産活動の支援とPR					
	◎特用林産物の生産活動への支援とPR  ★新規就業者の育成	○四万十備長炭事業化への取り組み支援 ・事業化に向けた助言等	四万十市 (農林水産課)	◆特用林産物 (しいたけ、木炭) 生産量 H25:48,466kg → H31:55,000kg H26:29,784kg H27:31,178kg H28:24,823kg H29:23,718kg		○特用林産振興事業 * 608千円 ・しいたけ種駒購入補助

分野		平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算(取り組み)概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
水産業分野						
1 水産資源の回復・生産量UP						
1. 天然水産資源の回復・増殖						
【水産AP1】 (1) 漁場環境、資源量等の調査・研究						
◎漁場環境、資源量等の調査・研究 ◎調査結果の広報活動	○四万十川漁業振興協議会補助金 4月～ アユの冷水病調査 10月～ アユ仔魚調査	四万十市(農林水産課) 四万十川漁業振興協議会 漁業協同組合	◆漁場環境や資源量等の継続的な把握と減少要因の分析が進み、漁業者と情報が共有され、天然資源の回復・増殖に向け関係者が連携した取組みが進んでいる		○四万十川漁業振興協議会補助金 ・アユの冷水病調査	* 150千円
【水産AP2】 (2) 生育・漁場環境の保全・整備						
○スジアオノリ生育・漁場環境の保全・整備 ○アユの産卵場の再生と保安全管理 ○イセエビ漁礁設置による漁場整備	○国土交通省・四万十川自然再生協議会による整備 ・四万十川自然再生事業 アユの瀬づくり、魚のゆりかごづくりを推進	四万十市(農林水産課) 四万十川自然再生協議会 漁業協同組合	◆内水面漁業漁獲量 H24:56t→H31:65t H25:66t H26:65t H27:62t H28:34.3t H29:49t ◆海面漁業漁獲量 H24:30t→H31:35t H25:24t H26:22t H27:17t H28:17t H29:14t		○国土交通省・四万十川自然再生協議会による整備 ・四万十川自然再生事業 アユの瀬づくり、魚のゆりかごづくりを推進 ○スジアオノリ漁場整備支援 (実施主体:四万十川下流漁業協同組合) ・河川形状整備等	— * 400千円
2. 栽培漁業の推進						
【水産AP3】 (1) 効果的な種苗放流の推進						
★効果的な放流技術の確立 ○内水面資源の種苗放流 ○沿岸資源の種苗放流	○稚アユ等放流補助金 他 (実施主体:四万十川中央漁業協同組合) ・稚アユ1,454kg、うなぎ放流59.7kg (実施主体:四万十川西部漁業協同組合) ・稚アユ665kg、アメゴ放流20kg、うなぎ放流29.38kg ○稚アユ等放流(独自) (実施主体:四万十川下流漁業協同組合) ・稚アユ40kg、うなぎ放流14.68kg	四万十市(農林水産課) 漁業協同組合	◆内水面・沿岸資源の種苗放流 H31:維持		○稚アユ等放流補助金 他 (実施主体:四万十川中央漁業協同組合) ・稚アユ放流、ツガニ放流、うなぎ放流 (実施主体:四万十川西部漁業協同組合) ・稚アユ放流、ツガニ放流、アメゴ放流、うなぎ放流	* 2,500千円 * 1,256千円
【水産AP4】 (2) アオサの生産拡大						
★区画あたりの生産拡大 ★新たな漁場の開拓と新規参入の促進 ◎生産・品質管理の徹底	【再掲】 ○四万十川漁業振興協議会補助金 ・環境調査(水温、塩分の測定)	四万十市(農林水産課) 四万十川漁業振興協議会 四万十川下流漁業協同組合	◆安定した生産量と品質が確保され、入札業者の増加と高値安定が確保されている ◆内水面漁業漁獲量 H24:56t → H31:65t H25:66t H26:65t H27:62t H28:34.3t H29:49t		【再掲】 ○四万十川漁業振興協議会補助金 ・栽培環境調査(水温、塩分濃度の計測)	【150千円】
【水産AP5】 (3) スジアオノリの栽培技術の研究と実践						
★スジアオノリの栽培技術の研究と実践	○下流漁協との協議 スジアオノリ自然栽培推進事業(H28~H30)の結果をもとに、下流漁協と市で今後の取り組みについて協議	四万十市(農林水産課) 四万十川下流漁業協同組合	◆スジアオノリ自然栽培生産量 H31:5t H28:0t H29:0.05t H30:0.001t			
3. 地域に根差した資源管理の仕組みづくり						

分野		平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
水産業分野						
【水産AP6】 (1) 漁場利用の新たなルールづくり						
★漁場利用のための新たなルールづくり		○エビ資源保護 (実施主体：高知県内水面漁場管理委員会) 9月～3月 県内全河川でてながえび類採捕禁止	四万十市 (農林水産課) 四万十川漁業振興協議会	◆市民、漁業者の意識と機運が高まり、資源管理の取り組みが進んでいる		
【水産AP7】 (2) 資源保護のための情報発信の強化						
◎資源保護のための情報発信の強化		○禁漁期間の周知と資源保護の啓発 ・密漁防止チラシを作成し配布 ・2月広報 『密漁は犯罪です』各種禁漁期間の周知	四万十市 (農林水産課) 漁業協同組合 高南幡東漁業秩序を守る会 (海面漁業)	◆市民、漁業者の意識と機運が高まり、資源管理の取り組みが進んでいる		○禁漁期間の周知と資源保護の啓発 ○高南・幡東地区漁業秩序を守る会負担金 * 80千円
4. 担い手の確保、育成						
【水産AP8】 (1) 協業化の促進						
★協業化の促進			四万十市 (農林水産課) 漁業協同組合	◆漁業協同組合や漁業者間の連携が促進され、協業化の動きが生まれている		
【水産AP9】 (2) 新規就業者のための研修・フォローアップ						
★講習会、研修会の開催 ◎受入漁家による研修制度の拡充 ★フォローアップ体制の確立			四万十市 (農林水産課) 漁業協同組合	◆漁業体験研修の受講者数 H27～H31の5年間で3人 H27: 1人 H28: 1人 H29: 1人 H30: 1人 H31: 1人		
2 水産物の加工、販売促進						
1. 水産物の高付加価値化の推進						
【水産AP10】 (1) 今ある商品の磨き上げ		主な内容 ◎品質管理の向上、★商品力の強化⇒ 連携AP 5				
【水産AP11】 (2) 新たな商品開発		主な内容 ★未利用資源等の掘起しと利活用⇒ 連携AP 5、連携AP10      ★新たな商品の企画・開発の支援⇒ 連携AP 5				
2. 販売力の強化と販路拡大						
【水産AP12】 (1) 漁協の販売力の強化		主な内容 ◎漁協の販売機能の強化⇒ 連携AP 1、連携AP 8      ★販路を見据えた漁業⇒ 連携AP 8				
【水産AP13】 (2) ブランド力の強化と販路拡大		主な内容 ◎ブランディングの構築と発信、★産業間連携や広域連携による外商活動、○商談会等販路開拓・拡大の支援⇒ 連携AP 8 ★地元消費拡大フェアの開催⇒ 連携AP 1      ★地産地消認証店制度⇒ 連携AP 2				
3. 魚食文化の磨き上げと発信						
【水産AP14】 (1) 魚食文化の磨き上げ		主な内容 ★魚食文化の磨き上げ⇒ 連携AP10      ★未利用資源等の掘起しと利活用⇒ 連携AP 5、連携AP10				
【水産AP15】 (2) 魚食文化の発信強化		主な内容 ★グルメイベント等での魚食文化の発信⇒ 連携AP11				
3 水産資源を活用した交流の拡大						
1. 体験交流の推進						
【水産AP16】 (1) 魅力ある体験商品づくり						
★体験商品の磨き上げ ★川の体験ガイドブックの作製			四万十市 (農林水産課・産業建設課) 漁業協同組合	◆体験・宿泊等のプラン作成件数 H31: 107件 H27: 37件 H28: 07件 ※漁業体験以外を含む H29: 07件 H30: 27件 H31: 07件		

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要						
						水産業分野					
						【水産AP17】 (2) 体験教室等の開催					
						◎体験教室の開催					
	<p>○川漁体験学習等</p> <p>4月 アユ放流体験 (西土佐小学校)</p> <p>5月 アユ放流体験 (蕨岡、具同小学校)</p> <p>6月 投網体験 (下田小学校)</p> <p>7月 投網体験 (中村西中学校)</p> <p>8月 アユしゃくり漁体験 (大用中学校)</p> <p>9月 アユつかみどり体験 (中村幼稚園)</p> <p>○四万十川ガキ体験 (7月) ※天候の関係で中止</p> <p>主催: 四万十の日実行委員会</p> <p>対象: 保育園年長児~小学生、保護者 (32名参加予定)</p> <p>体験内容: カヌー、サップ、小魚とり体験</p> <p>○水辺の楽校</p> <p>主催: 四万十の日実行委員会</p> <p>5~9月 対象: 中村小、東山小、下田小、蕨岡小、竹島小、具同小、大用小、東中筋小、中筋小、八束小、中村南小の主に小学3~4年生</p> <p>体験内容: 水生生物採取</p> <p>○親子川漁体験 (8月)</p> <p>主催: 四万十の日実行委員会 対象: 小中学生親子 (約50名参加)</p> <p>講師: 四万十川中央漁協組合</p> <p>体験内容: 投網、アユつかみどり、箱メガネ、アユ炭火焼の試食</p> <p>提供アユ: 合計30kg (四万十川中央漁協組合)</p>	<p>四万十市 (農林水産課・産業建設課)</p> <p>漁業協同組合</p> <p>四万十の日実行委員会</p>	<p>◆自然や漁業への関心と資源保護に対する市民意識が向上している</p>		<p>○種苗放流体験 —</p> <p>(実施主体: 四万十川漁業振興協議会)</p> <p>・各漁業協同組合の種苗放流時に実施</p> <p>○四万十の日実行委員会補助金 (対象事業のみ) * 484千円</p> <p>・水辺の楽校 274千円</p> <p>・四万十川ガキ体験 (カヌー、サップ) 150千円</p> <p>・親子川漁体験 60千円</p> <p>(投網漁体験、鮎のつかみどり、試食)</p> <p>○川漁体験学習等 (予定) —</p> <p>・アユ放流体験 (小学校、四万十川中央漁協組合)</p> <p>・アユしゃくり漁体験 (小中学校、四万十川中央漁協組合)</p>						



分野		平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
商工業分野						
	○商店街空間整備 ◎情報発信機能の充実	5月 四万十市中心商店街活性化計画の策定 5月・11月 四万十市中心商店街活性化協議会の開催 7月・2月 身内で商店街ツアー実施 (7月:5店舗17名参加) 毎月1回 拠点施設を核とした商店街活性化の協議 (6月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月) 専門家派遣:4回 (8月、10月、12月、2月) 12月 施設名称決定:「Shimanto+Terrace はれのば」 (しまんとてらすはれのば) プレオープン3月23日	商店街振興組合	H27:4,591人/日 H28:4,676人/日 H29:5,878人/日 H30:6,208人/日 H31:5,607人/日		【再掲】 ○地域おこし協力隊経費 (中心市街地活性化1名) <span style="float:right">【3,152千円】</span>
	【商工AP12】 (3) 日常の賑わいにつながる仕組みづくり					
	○イベント開催等活性化の仕組みづくり ○個店のサービス向上 ★個性が光る店舗の集積	【再掲】 ○商店街活性化モデル事業 (900千円) (実施主体:中村商工会議所) 5月 公家行列及び地域産品の販売PRを支援 ○商店街活性化補助金 (実施主体:各商店街振興組合) 7月 天神橋商店街土曜夜市 (2回) 208千円 (完了) 東下町商店街納涼祭 (雨天中止) 62千円 (完了) 8月 一条通商店街納涼祭 138千円 (完了) 3月 一条通春祭り ○チャレンジショップ事業補助金 (2,849千円) (実施主体:天神橋商店街振興組合) チャレンジャー3名:9月1名が卒業、2名が営業中 ○小京都ジュニア駅伝 100千円 (1/25実施) (実施主体:小京都ジュニア駅伝大会実行委員会) ○よさこい四万十2019 9月 市内6ヶ所 (天神橋商店街、一条通商店街、東下町商店街、中村病院駐車場、中村駅構内、不破八幡宮周辺) ○地域資源を活用したまち歩きイベント等の実施 (565千円) (実施主体:四万十市商店街振興組合女性部) 11月 第2回まちあそび人生ゲーム	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会 商店街振興組合	◆商店街通行者数 (平日) H22~H26平均 4,725人/日 → H31:4,845人/日 H27:4,591人/日 H28:4,676人/日 H29:5,878人/日 H30:6,208人/日 H31:5,607人/日 ◆商店街空き店舗対策補助 件数 H26:2件/年 → H31:5件/年 H27:4件/年 H28:0件/年 H29:3件/年 H30:2件/年 H31:1件/年		【再掲】 ○商店街活性化モデル事業 <span style="float:right">【900千円】</span> (実施主体:中村商工会議所) ・公家行列及び地域産品の販売PRを支援 ○商店街活性化補助金 * 500千円 (実施主体:各商店街振興組合) ・中心市街地活性化に資する事業 イベント (夜市) などへの支援 ○四万十玉姫の会 商店街活性化事業 * 725千円 ○小京都ジュニア駅伝 * 100千円 (実施主体:小京都ジュニア駅伝大会実行委員会) ○チャレンジショップ事業補助金 * 5,906千円 (実施主体:天神橋商店街振興組合) ・天神橋チャレンジショップTJB ○空き店舗対策事業補助金 * 750千円 ・空き店舗入居者に対する店舗改修費への支援
	【商工AP13】 (4) 空き店舗対策					
	○空き店舗情報の発信強化とマッチング機会の提供 ◎空き店舗改修等の支援	○空き店舗対策事業補助金 ・空き店舗入居者に対する店舗改修費の支援 補助見込 1件 (103千円) ○空き店舗調査業務委託 <b>れんけいこうちを活用</b> 1月~3月 市内7商店街振興組合地域の空き店舗調査 (337千円) (業務委託:まちづくり会社)	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会 商店街振興組合 まちづくり会社	◆商店街空き店舗対策補助 件数 H26:2件/年 → H31:5件/年 H27:4件/年 H28:0件/年 H29:3件/年 H30:2件/年 H31:1件/年		【再掲】 ○空き店舗対策事業補助金 <span style="float:right">【750千円】</span> ・空き店舗入居者に対する店舗改修費への支援
2. 創業や経営革新への支援強化						
	【商工AP14】 (1) 経営指導などサポート体制の強化					
	★経営指導などサポート体制の強化	○商工業者経営改善普及事業 (事業主体:中村商工会議所、西土佐商工会) 商工会議所、商工会で策定された「経営発達支援計画」、市が策定した「創業支援計画」(計画期間H27~H29)に基づき、市、商工会議所、商工会、金融機関等関係機関が連携し、経営についてトータルサポート及びワンストップ窓口化 創業支援計画をR4.3.31まで延長 ○生産性特別措置法に基づく導入促進基本計画の策定 生産性向上特別措置法に基づき、市内に事業所を有する中小企業者が策定した「先端設備等導入計画」を認定する。認定を受けた中小企業者は、固定資産税の特例措置等の支援策を受けることが可能。	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会	◆創業に関する相談件数 H26:8件/年 → H31:45件/年 H27:38件/年 H28:37件/年 H29:26件/年 H30:30件/年		○商工業者経営改善普及事業 (実施主体:中村商工会議所、西土佐商工会) ・商工会議所、商工会で策定された「経営発達支援計画」、市が策定した「創業支援計画」に基づき、市、商工会議所、商工会、金融機関等関係機関が連携し、経営についてトータルサポート及びワンストップ窓口化 ○中小企業振興資金保証料補給 * 1,442千円

分野		平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
商工業分野						
【商工AP15】 (2)創業や経営革新に意欲ある事業者 (人材)の育成、スキルアップ						
○事業者の育成、スキルアップ		<b>【再掲】</b> ○チャレンジジョブ事業補助金 (2,849千円) (実施主体:天神橋商店街振興組合) チャレンジャー3名 9月1名が卒業、2名が営業中 <b>【再掲】</b> ○四万十市地域商品研究会 (実施主体:四万十市地域商品研究会) 会員等:9事業所 会員連携による情報共有、商品開発、販路開拓等	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会	◆創業に関する相談件数 H26:8件/年 → H31:45件/年 H27:38件/年 H28:37件/年 H29:26件/年 H30:30件/年		<b>【再掲】</b> ○チャレンジジョブ事業補助金 <b>【5,906千円】</b> (事業主体:天神橋商店街振興組合) ・天神橋チャレンジジョブTJB
3 中山間地域の商業機能の確保						
1. 小さな(田舎)ビジネスの推進						
【商工AP16】 (1)集落、小グループが取り組むコミュニティビジネス等の発掘、育成		主な内容 ◎事業者、地域等の提案を拾い上げる体制強化、◎地域ならではのアイデア、資源を活かした商品開発⇒連携AP6				
【商工AP17】 (2)地域の人、もの、コトの発信		主な内容 ◎地域の人、もの、コトの発信⇒連携AP8				
【商工AP18】 (3)ビジネスの拠点づくり		主な内容 ◎拠点ビジネスの推進、◎直販所の拠点機能の強化⇒連携AP2 ★新食肉センターを核とした地域産業の振興⇒連携AP2、連携AP3 ★道の駅「よって西土佐」の整備・機能強化⇒連携AP2、連携AP8				
4 企業誘致						
1. 情報通信関連産業の誘致促進						
【商工AP19】 (1)誘致に向けたリサーチの徹底						
★誘致にかかるリサーチ		○企業誘致対策 9月 誘致企業:ソウルダアウト(株)との協定式(高知県庁) 10月 ソウルダアウト(株)訪問(東京) 1月 ソウルダアウト(株)訪問(東京) ソウルダアウト(株)地方拠点 「デジタルオペレーションセンター四万十」開所	四万十市 (観光商工課)	◆シェアオフィスへの誘致企業数 H31:2社 H27:- H28:- H29:- H30:- H31:-		○企業誘致対策 * 127千円 ・県と連携した誘致企業の情報収集、アプローチ 誘致企業訪問旅費(東京、徳島)
【商工AP20】 (2)誘致活動の推進						
◎特色ある誘致情報の発信 ★支援メニューの創設・受入体制づくり ◎県と連動した誘致活動の推進		<b>【再掲】</b> ○企業誘致対策 9月 誘致企業:ソウルダアウト(株)との協定式(高知県庁) 10月 ソウルダアウト(株)訪問(東京) 1月 ソウルダアウト(株)訪問(東京) ソウルダアウト(株)地方拠点 「デジタルオペレーションセンター四万十」開所	四万十市 (観光商工課・農林水産課)	◆シェアオフィスへの誘致企業数 H31:2社 H27:- H28:- H29:- H30:- H31:- ◆既誘致企業での雇用者数 H31:20名増 H27:20名(20名増/年) H28:22名(2名増/年) H29:17名(3名増/年) H30:22名(5名増/年) H31:34名(12名増/年) ◆次世代施設園芸等への誘致企業数 H31:1社 H27:- H28:- H29:- H30:- H31:-		<b>【再掲】</b> ○企業誘致対策 <b>【127千円】</b> ・県と連携した誘致企業の情報収集、アプローチ ○コールセンター等立地促進事業費補助金 * 13,603千円 ・誘致企業:ソウルダアウト(株) 建物賃料・設備取得・設備賃借 雇用奨励金(正社員2名、契約社員13名分)
【商工AP21】 (3)遊休施設等を活用したシェアオフィス等の整備						

分野		平成31年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
商工業分野						
	★シェアオフィス等の整備	<b>【再掲】</b> ○企業誘致対策 9月 誘致企業:ソウルドアウト(株)との協定式 (高知県庁) 10月 ソウルドアウト(株)訪問 (東京) 1月 ソウルドアウト(株)訪問 (東京) ソウルドアウト(株)地方拠点 「デジタルオペレーションセンター四万十」開所	四万十市 (観光商工課)	◆シェアオフィスへの誘致企業数 H31: 2社 H27: - H28: - H29: - H30: - H31: -		○市内の遊休公共施設等を活用しシェアオフィスを整備するための取り組みを実施予定

分野		平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
観光分野						
<b>1 滞在型の観光地づくり</b>						
1. 地域の観光資源、フィールドを活かした滞在型の観光商品づくり						
【観光AP1】 (1) 観光リサーチの徹底	主な内容 ◎観光マーケティングリサーチ、★四万十市のどこが好きキャンペーンの実施⇒ 連携AP7					
【観光AP2】 (2) 今ある観光商品の磨き上げ	主な内容 ◎観光商品としての検証と磨き上げ、○専門家を活用した観光商品の磨き上げ⇒ 連携AP7					
【観光AP3】 (3) 新たな観光商品づくり	主な内容 ◎観光商品づくりワークショップの開催、★異業種交流会の開催、◎地域の産業と連携した新たな観光商品づくり、★閑散期のメニュー開発⇒ 連携AP7					
【観光AP4】 (4) 食の魅力を活かした観光振興	主な内容 ○食の魅力を活かした観光地づくり、○食の発信・普及イベント等の開催⇒連携AP11					
2. 広域連携による周遊観光の推進						
【観光AP5】 (1) 広域連携による周遊観光の推進	主な内容 ○周遊観光プランの造成・発信及び販売⇒ 連携AP7      ○広域連携によるキャンペーンの展開⇒ 連携AP9					
<b>2 観光商品の外商の推進</b>						
1. 観光商品のセールス及び情報発信の強化						
【観光AP6】 (1) 観光商品のセールス強化	主な内容 ★営業力のある人材、組織の育成、◎旅行会社への営業活動の促進、○旅行商品商談会等への出展、★海外への営業活動の促進⇒ 連携AP9					
【観光AP7】 (2) 広報・プロモーションの強化	主な内容 ○多様な媒体を活用した広報活動の強化、★ターゲットに合わせたプロモーションの展開⇒ 連携AP9 ★一元的な情報発信の促進⇒ 連携AP8、連携AP9、連携AP11      ◎産業間連携や広域連携による誘客 (PR) 活動⇒ 連携AP9、連携AP11					
<b>3 おもてなしの向上</b>						
1. おもてなし環境の整備						
【観光AP8】 (1) 四万十川流域観光の拠点施設の整備、機能強化						
◎拠点施設の拡充、機能強化	○入田ヤナギ林整備 6～9月 草刈、刈草収集、焼却 10月 耕運 11月 木取り、周辺整備 2月 木取り、草刈り、遊歩道整備 【再掲】 ○四万十川流域サイクルロード整備プロジェクト 企業版ふるさと納税事業を活用 8～9月 整備予定箇所の現地確認 11月～2月 ガードパイプ設置、路面補修 12月～3月 景観を阻害する樹木の伐採 2月 四国一周サイクリングルート路面標示ピクト整備 【再掲】 ○リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～での取り組み (H31.2月開幕) 4月～ 市内循環 (四万十トローリー) バス・川バスの運行 多言語案内看板の設置 (四万十川流域) ・観光ガイドミーティング (3回) 4月1回、6月1回、10月1回 ・お試しガイド実施 (3回) 5月1回、6月1回、12月1回 ○観光拠点施設整備 4月～ カヌー館オートキャンプ場整備 4月 トンボ自然公園トンボ池整備 7月 学修館水槽整備 12月～ かわらっこ駐車場整備	四万十市 (観光商工課) 四万十市観光協会	◆公設観光施設等利用者数 H26:172,370人 → H31:180,000人 H27:189,788人 H28:185,492人 H29:174,927人 H30:143,785人 H31:147,262人			
				○自然体験型観光資源強化事業 * 8,873千円 ・川バス運行 ・カヌー館、かわらっこ、四万十楽舎 3施設合同アクティビティパンフレット作成 ・四万十流域雑木伐採 (景観整備) など ○四万十いやしの里管理運営 * 6,487千円 ・施設等修繕ほか ○四万十川学遊館管理運営 * 20,307千円 ・管理運営ほか ○かわらっこ管理運営 * 3,751千円 ・施設等修繕ほか ○入田ヤナギ林整備 * 3,565千円 ○キャンプ場ほか観光公衆トイレ管理運営 * 6,365千円 ○四万十パーク管理 * 2,927千円 ・植栽管理ほか ○カヌー館関連施設等管理運営 * 7,833千円 ・カヌー館、四万十ひろば、ふるさと案内所等 ○岩間四万十茶屋維持管理補助金 * 110千円 ○四万十楽舎管理運営 * 2,537千円 ○ホテル星羅四万十管理運営 * 6,787千円 ・施設修繕 (空調機、エレベーター制御装置更新等) ほか ○天体観測所施設運営 * 2,013千円		

分野	戦略の柱	平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
	施策					
	アクションプラン					
	主な内容					
観光分野						
	<p>【観光AP9】 (2) 二次交通の充実</p> <p>○二次交通の運行形態の見直し・拡充と情報発信</p>	<p>【再掲】</p> <p>○四万十川バス運行</p> <p>4～9月 95日運行 (中村駅⇄沈下橋⇄江川崎駅) 土、日、祝日及びGW、夏休み (7/20～8/31の全期間)</p> <p>10～3月 39日運行予定 (中村駅⇄沈下橋⇄江川崎駅) 10月・11月及び3月の土・日・祝日を基本とし春休み (3/14～3/31の全期間)</p> <p>【再掲】</p> <p>○市内循環バス (しまんとトロリーバス) の運行 GW、夏休み、冬休み、3月 (土日及び20日) 78日運行 中村駅⇄宿泊施設⇄郷土博物館⇄佐田沈下橋⇄学遊館⇄中村駅</p> <p>○しまんと・あしずり号 GW、夏休み、土日祝日等の209日間運行 (四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十市)</p> <p>【再掲】</p> <p>○四万十・足摺バス販売開始 2月～ (通年) ※短期滞在の外国人のみ利用可 ・路線バス、周遊観光バス乗り放題 (3日間、5日間)</p> <p>○おもてなしタクシーの運行 (通年) 随時運行</p> <p>○レンタサイクル (通年) 随時貸し出し ※二人乗り自転車の貸出開始</p>	<p>四万十市 (観光商工課)</p> <p>四万十市観光協会</p> <p>幡多広域観光協議会</p>	<p>◆二次交通利用者数 H26:5,718人 → H31:10,000人 H27:5,896人 H28:6,311人 H29:6,955人 H30:6,164人</p>		<p>【再掲】</p> <p>○四万十川バス運行 (自然体験型観光資源強化) <b>【5,474千円】</b></p> <p>・中村駅～江川崎駅間 GW、夏・春休み、土日祝日の137日間 (1日2便) 運行 ※12、1、2月は運行しない。</p> <p>○循環周遊バス (しまんとトロリーバス) の運行 * 3,793千円 ・市街地及び郷土資料館、周辺観光地を結ぶ周遊バス GW、夏・春・冬休みの82日間 (1日4便) 運行</p> <p>【再掲】</p> <p>○周遊観光バスしまんと・あしずり号運行 <b>【2,500千円】</b> (事業主体: 幡多広域観光協議会) ・GW、夏休み、土日祝日等の運行 (四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十市)</p> <p>○おもてなしタクシーの運行 (通年) —</p> <p>○レンタサイクル (通年) —</p>
	<p>【観光AP10】 (3) 周遊しやすい環境の整備</p> <p>★観光案内機能の充実</p> <p>○コーディネート機能の向上</p> <p>【再掲】 ★一元的な情報発信の促進</p>	<p>○四万十市観光協会の案内機能の充実</p> <p>・観光所の充実 (カテゴリー2)</p> <p>・雑誌・新聞・TV等への情報提供、SNSでの発信強化</p> <p>・泊まるともらえる特典キャンペーン (共通割引券)</p> <p>・手ぶら観光便 ～手荷物配送サービス～</p> <p>・飲食店等メニューの多言語化</p> <p>【観光案内業務】 国内・外国人対応等、レンタサイクル貸出 臨時観光案内所 (佐田沈下橋・入田ヤナギ林菜の花まつりなど)</p> <p>○観光客誘致宣伝活動</p> <p>・四万十市観光ガイドブック等作成、送付など</p> <p>【再掲】</p> <p>○リョーマの休日～自然&amp;体験キャンペーン～ での取り組み (H31.2月開幕)</p> <p>4月～ 市内循環 (四万十トロリー) バス・川バスの運行 多言語案内看板の設置 (四万十川流域)</p> <p>・観光ガイドミーティング (3回) 4月1回、6月1回、10月1回</p> <p>・お試しガイド実施 (3回) 5月1回、6月1回、12月1回</p> <p>【再掲】</p> <p>○シティプロモーション推進事業 <b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>・4月～ しまんとエコバッグ販売継続 SNS等でのプロモーション動画発信継続 YouTube再生回数合計 25,603回/3編 (1月末)</p>	<p>四万十市 (観光商工課・企画広報課)</p> <p>四万十市観光協会</p> <p>幡多広域観光協議会</p>	<p>◆周遊しやすい環境づくりが進み観光誘客につながっている</p> <p>◆外国人観光入込客数 H26:1,341人 → H31:5,000人 H27:1,971人 H28:3,633人 H29:4,122人 H30:3,287人 H31:3,473人</p>		<p>【再掲】</p> <p>○観光客誘致宣伝活動 <b>【3,791千円】</b></p> <p><b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>・教育旅行、一般旅行の国内誘致活動 (672千円)</p> <p>・四万十市観光ガイドブック等作成 (2,657千円)</p> <p>・観光パンフレット送付 (70千円)</p> <p>・リピーターバッジ作成他 (392千円)</p> <p>○地域おこし企業人交流プログラム * 8,000千円 (ANA総合研究所から1名招致)</p> <p>・体験メニュー等のコーディネート</p> <p>・観光商品の造成と情報発信 (翼の王国など)</p> <p>・おもてなし向上「接客研修」開催 ほか</p> <p>・行政女子プロジェクトチーム リピーターバッジ、インスタグラム</p> <p>【再掲】</p> <p>○シティプロモーション推進事業 <b>【416千円】</b></p> <p><b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>・PRツール作成、市関連施設ロゴ貼付等</p>

分野		平成31年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
観光分野						
2. おもてなしサービスの充実						
【観光AP11】 (1) 観光地としての市民意識の醸成と浸透						
★市民の参画意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域おこし企業人交流プログラム (ANA総合研究所から1名招致) <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光情報発信 (翼の王国、フェイスブックなど)</li> <li>・おもてなし向上「接客研修」開催</li> <li>・行政女子プロジェクトチームミーティング会議 (6回)</li> <li>・インスタグラム、エコバック、リピーターバッジなど</li> <li>・宇和島女子旅プロジェクトチームとの連携</li> </ul> </li> <li>○小中学校・高等学校との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験の受入等 (5回)</li> <li>・総合学習での講義等 (3回)</li> <li>・ボランティア活動の推進 (1回: 入田ヤナギ林整備)</li> </ul> </li> <li>○小京都ゆかたDAY <ul style="list-style-type: none"> <li>7月 市内19団体152人参加</li> </ul> </li> <li>○入田ヤナギ林の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>11月 入田ヤナギ林菜の花まつり会場一斉清掃 (106人)</li> <li>2月 入田ヤナギ林菜の花まつり会場清掃・草刈り・遊歩道整備</li> </ul> </li> <li>○あつたか高知 秋のおもてなし一斉清掃の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>10月 14団体61人参加</li> </ul> </li> </ul>	四万十市 (観光商工課) 四万十市観光協会	◆観光地であることを広く市民が認識し、おもてなし意識と地域の魅力を伝えられる市民が増えている		【再掲】 ○地域おこし企業人交流プログラム (ANA総合研究所から1名招致) <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験メニュー等のコーディネート</li> <li>・観光商品の造成と情報発信 (翼の王国など)</li> <li>・おもてなし向上「接客研修」開催 ほか</li> <li>・行政女子プロジェクトチーム リピーターバッジ、インスタグラム</li> </ul>	
【観光AP12】 (2) リピーター確保に向けた取り組み (特典の充実)						
◎おもてなし感が感じられる仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>【再掲】</li> <li>○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体: 四万十市食文化磨き上げ研究会) <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十の食文化の発信</li> <li>市内小中学校の児童生徒へ食の発信冊子の配布</li> </ul> </li> <li>【再掲】</li> <li>○地域おこし企業人交流プログラム <ul style="list-style-type: none"> <li>・おもてなし向上「接客研修」開催</li> <li>・行政女子プロジェクトチーム リピーターバッジ、インスタグラム、エコバック</li> </ul> </li> </ul>	四万十市 (観光商工課) 四万十市観光協会 四万十市観光振興連絡会議 西土佐観光推進協議会 四万十市体験型観光受入研究会	◆商工業分野等との連携による多様な仕組み、サービスが生まれている		【再掲】 ○リピーターバッジの作製、配布	
4 組織力の強化と観光リーダーの発掘・育成						
1. 観光関連事業者のスキルアップ						
【観光AP13】 (1) 観光関連組織の役割分担と組織力の強化						
○役割分担の明確化とスキル・組織力の強化 ★コーディネーターの育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>【再掲】</li> <li>○観光客誘致宣伝活動 (事業主体: 四万十市観光協会) <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会観光案内所、臨時観光案内所での観光動向調査</li> <li>4月～ 観光案内所 (観光協会) 窓口での観光客アンケート</li> <li>5月、8月 観光動向アンケート調査 (沈下橋な)</li> </ul> </li> </ul>	四万十市 (観光商工課) 四万十市観光協会 幡多広域観光協議会	◆観光人材・組織のスキル (商品企画、営業力等) が向上し、「待ちの誘客」から「動く誘客」にシフトしている		【再掲】 ○観光案内所運営補助金 (四万十市観光協会) <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会観光案内所、臨時観光案内所での観光動向等</li> </ul>	

分野		平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
観光分野						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行商談会 (国内) 出展 (6、9、10月)</li> <li>・旅行商談会 (国外 (シンガポール)) 出展 (10月)</li> <li>4月 モンベルクラブ・フレンドフェア2019春 (大阪)</li> <li>11月 ふるさとチョイス大感謝祭 (横浜)</li> <li>4月～ デジタルパンフレットの作成</li> <li>8月 台湾テレビ局 (四万十川等の撮影)</li> <li>10月 モーター (FUNJAPAN) 含む情報発信 (台湾2名、タイ2名)</li> <li>3月 旅行商品開発「幡多路の旅」</li> <li>3月 西土佐モニターツアー「しまんとにしとさ半径3kmの旅」</li> <li>○四万十市観光ガイドLOILOILしまんと <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月設立 構成員 (市民7人、観光協会1人で組織)</li> <li>・ツアーモデルコース作成、30年度末受入開始</li> <li>・LOILOILしまんと まち歩き・史跡めぐりパンフレット作成</li> </ul> </li> <li>【再掲】</li> <li>○幡多広域観光協議会 <ul style="list-style-type: none"> <li>4月 教育旅行セールス (1回)、四国運輸局意見交換会</li> <li>5月 教育旅行受入 (4校)、商談会 (1回)</li> <li>6月 商談会 (5回)、台湾教育旅行説明会 (1回)、</li> <li>ジャンボツアー受入 (絶景列車4本)</li> <li>理事会・社員総会 (事業計画など)</li> <li>7月 教育旅行受入 (3校)、ジャンボツアー等受入 (絶景列車3本)</li> <li>商談会 (1回)</li> <li>8月 ぶしゅかんトレイン、移住ツアー</li> <li>9月 全国ほんもの体験ネットワーク総会 (四万十市)</li> <li>商談会 (2回)、教育旅行受入 (2校)</li> <li>10月 商談会 (3回)、教育旅行受入 (3校)</li> <li>11月 教育旅行セールス (1回)、商談会 (1回)</li> <li>教育旅行受入 (1回)、クラブツーリズム受入 (絶景列車5本)</li> <li>理事会・幡多広域観光推進部会</li> <li>12月 教育旅行セールス (1回)、商談会 (1回)</li> <li>クラブツーリズム受入 (絶景列車5本)</li> <li>1月 台湾観光説明会 (1回)</li> <li>2月 韓国青年訪問団受入 (1回)、幡多バルツアー開催</li> <li>理事会・社員総会</li> <li>四万十・足摺バスパス販売開始</li> <li>3月 教育旅行受入 (1回)</li> <li>全国ほんもの体験フォーラム</li> </ul> </li> <li>○外国人観光客受入研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>9月 基礎講座・分科会 (全体会)</li> <li>「外国人観光客の対応もこれで安心!</li> <li>おもてなしのポイントとカタカナ英語接客セミナー」</li> <li>10月～ 個別研修</li> </ul> </li> <li>○カヌーガイド養成講座 1月 (全8回)</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>【再掲】</li> <li>○幡多広域観光協議会負担金 <span style="float: right;">【11,303千円】</span></li> <li>(実施主体: 幡多広域観光協議会)</li> <li><b>地方創生推進交付金を活用</b></li> <li>・令和元年度に策定した幡多地域観光振興計画に基づき、自然・体験型観光キャンペーンと連携した事業を展開</li> <li>・周遊観光バスしまんと・あしずり号運行</li> </ul>
	【観光AP14】 (2) 異業種との交流・連携の促進	主な内容 ★異業種交流会の開催⇒ 連携AP7				
	2. 観光人材の育成、確保					
	【観光AP15】 (1) 地域の観光リーダーの育成					
	★地域のキーマンの発掘、育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>【再掲】</li> <li>○四万十市体験型観光受入研究会 <ul style="list-style-type: none"> <li>4月 農村生活体験ホームステイに係る衛生講習会 (2回)</li> <li>5月 受入家庭を対象とした研修会</li> <li>8月 総会開催</li> </ul> </li> </ul>	四万十市 (観光商工課・関係課) 四万十市観光協会 幡多広域観光協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域で核となる観光人材が育成されている</li> <li>◆体験型観光受入研究会加入団体数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【再掲】</li> <li>○四万十市体験型観光受入研究会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験プログラム等の開発・磨き上げ、家庭募集、研修ほか</li> </ul> </li> </ul>	

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成31年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	令和2年度当初予算 (取り組み) 概要						
						観光分野					
							9月 第26回全国ほんもの体験ネットワーク総会 (四万十市) 1月 意見交換会 (19人) 2月 農村生活体験ホームステイに係る衛生講習会 (2回) 3月 第16回全国ほんもの体験フォーラム in 南信州 <b>【再掲】</b> ○四万十市観光ガイドLOILOIしまんと ・4月設立 構成員 (市民7人、観光協会1人で組織) ・ツアーモデルコース作成、30年度末受入開始 ・LOILOIしまんと まち歩き・史跡めぐりパンフレット作成 <b>【再掲】</b> ○外国人観光客受入研修 9月 基礎講座・分科会 (全体会) 「外国人観光客の対応もこれで安心! おもてなしのポイントとカタカナ英語接客セミナー」 10月～ 個別研修 ○カヌーガイド養成講座 1月 (全8回)	四万十市体験型観光受入研究会 H26:23団体 → H31:30団体 H27:23団体 H28:23団体 H29:23団体 H30:23団体 H31:23団体		<b>【再掲】</b> ○幡多広域観光協議会負担金 <b>【11,303千円】</b> (実施主体: 幡多広域観光協議会) <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・令和元年度に策定した幡多地域観光振興計画に基づき、自然・体験型観光キャンペーンと連携した事業を展開 ・周遊観光バスしまんと・あしずり号運行 <b>【再掲】</b> ○地域おこし協力隊経費 (地域振興5名) <b>【18,468千円】</b> (中村地域) 富山地区、大川筋・後川地区 (西土佐地域) 須崎、大宮地区、奥屋内地区	
<b>【観光AP16】</b> (2) 体験インストラクター、ガイドの育成											
○インストラクター、ガイドの育成	○四万十市体験型観光受入研究会 田舎暮らし体験後の反省会・意見交換会 (随時) など <b>【再掲】</b> ○リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～での取り組み (H31.2月開幕) 4月～ 市内循環 (四万十トロリー) バス・川バスの運行 ・観光ガイドミーティング (3回) 4月1回、6月1回、10月1回 ・お試しガイド実施 (3回) 5月1回、6月1回、12月1回 <b>【再掲】</b> ○四万十リバーアクティビティ連絡協議会 5月 総会 9月 SHIMANTO RIVER FESTIVAL 2019 最後の夏休み (増水中止) 11月 水難事故防止対応協議 <b>【再掲】</b> ○幡多広域観光協議会 1月 カヌーガイド養成講座 (全8回)	四万十市 (観光商工課) 四万十市観光協会 幡多広域観光協議会 四万十市体験型観光受入研究会	◆観光人材の育成、レベルアップが図られている	<b>【再掲】</b> ○地域おこし企業人交流プログラム <b>【8,000千円】</b> (ANA総合研究所から1名招致) ・体験メニュー等のコーディネート ・観光商品の造成と情報発信 (翼の王国など) ・おもてなし向上「接客研修」開催 ほか ・行政女子プロジェクトチーム リピーターバッジ、インスタグラム <b>【再掲】</b> ○四万十市体験型観光受入研究会 ・体験プログラム等の開発・磨き上げ、家庭募集、研修ほか <b>【再掲】</b> ○幡多広域観光協議会負担金 <b>【11,303千円】</b> (実施主体: 幡多広域観光協議会) <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・令和元年度に策定した幡多地域観光振興計画に基づき、自然・体験型観光キャンペーンと連携した事業を展開 ・周遊観光バスしまんと・あしずり号運行							
<b>【観光AP17】</b> (3) 将来の担い手の発掘・育成											
★ボランティアの受け入れ ★インターンシップの受け入れ	○ボランティアの活動 5月 トンボ自然公園花菖蒲整備 6月 紫陽花選定作業 (24人) 10月 あったか高知 秋のおもてなし一斉清掃の実施 (14団体61人参加) 11月 入田ヤナギ林菜の花まつり会場一斉清掃 (106人) 2月 トンボ自然公園スイレン根抜き作業・遊歩道整備 2月 入田ヤナギ林菜の花まつり会場清掃・草刈り・遊歩道整備	四万十市 (観光商工課) 四万十市観光協会	◆観光の担い手確保につながっている	<b>【再掲】</b> ○四万十市観光振興連絡会議 (菜の花部会) <b>【1,450千円】</b> ・入田ヤナギ林菜の花祭り会場整備 (清掃・草刈りなど)							